

IIYAMA CITY MASTER PLAN 2023 >> 2032

[飯 山 市 第 6 次 総 合 計 画]

基本構想 令和5(2023)年度～令和14(2032)年度
前期基本計画 令和5(2023)年度～令和9(2027)年度



令和5(2023)年3月
飯 山 市

-
- はじめに

きょうそう

飯山郷創

～世界にひらく 里山の未来～

の実現を目指して

このたび飯山市では、令和5（2023）年度から10年間のまちづくりの基本方針となる「飯山市第6次総合計画」を策定いたしました。

近年の人口減少・少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症のまん延による人々のライフスタイルの多様化およびデジタル技術の急速な進化など、飯山市を取り巻く状況は大きく変化しています。特に、人々の暮らし方や働き方に関する価値観の大きな変化により、大都会の便利な暮らしから地方での豊かな暮らしを選ぶ時代となりました。

飯山市は、豊かで美しい自然環境のなかで、文化・歴史・伝統・風土・人情が育まれ形成された里山と世界につながる北陸新幹線飯山駅を有しているとともに、近くには高速道路ICがある魅力ある地域です。時代の変化を的確に捉え、飯山市のあらゆる地域資源の可能性を最大限に引き出し、活用しながら、訪れたい・住みたい・暮らし続けたいと思われるまちを目指し、一人ひとりが未来を考え知恵を出し合いながらまちづくりを進めていくことが、これから10年間の最大のテーマであると考えています。

この計画で掲げた将来のまちの姿「飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～」の実現に向けて、市民の皆様や事業者の皆様をはじめ、まちづくりを担う全ての方々と一丸となり事業を進めてまいります。

本計画の策定に当たりましては、飯山市基本構想審議会や市民アイデア会議、市議会、パブリックコメント等において、多くの方々から貴重なご意見、ご提言をいただきました。このことに心から感謝申し上げますとともに、市民の皆様方のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和5（2023）年3月
飯山市長

江沢岸生

飯 山 郷 創

Creative!

CONTENTS

第1章 序論	5
1 計画策定の趣旨	6
2 計画期間と構成	6
3 飯山市を取り巻く社会の潮流	7
4 飯山市の現状	9
5 飯山市の課題	19
6 第6次総合計画の方向性	22
第2章 基本構想	23
1 将来のまちの姿	24
2 基本目標	25
3 基本目標毎の取組	26
第3章 前期基本計画	35
1 計画期間	36
2 時代の変化に対応するための共通テーマ	36
3 将来推計人口と前期基本計画期間内の目標人口	38
4 施策体系	40
5 施策の展開	42



計画の見方	42
基本目標 1 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち	44
基本目標 2 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち	60
基本目標 3 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち	68
基本目標 4 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち	76
基本目標 5 安全で安心して暮らしを愉しめるまち	86
飯山市総合戦略	117
資料編	125
第6次総合計画の主な策定経過	126
飯山市基本構想審議会名簿	128
飯山市市民アイデア会議名簿	129
成果指標一覧	130
用語集	133



IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

このデザインは、飯山市のローマ字「ii」を表すとともに、まちのシンボルでもある山の連なりや、人のつながりをイメージしています。また、人が手を取り合い、未来へと疾走する姿を図案化しています。

ii

IYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

第

1

章

序
論

第 1 章

序 論

1 計画策定の趣旨

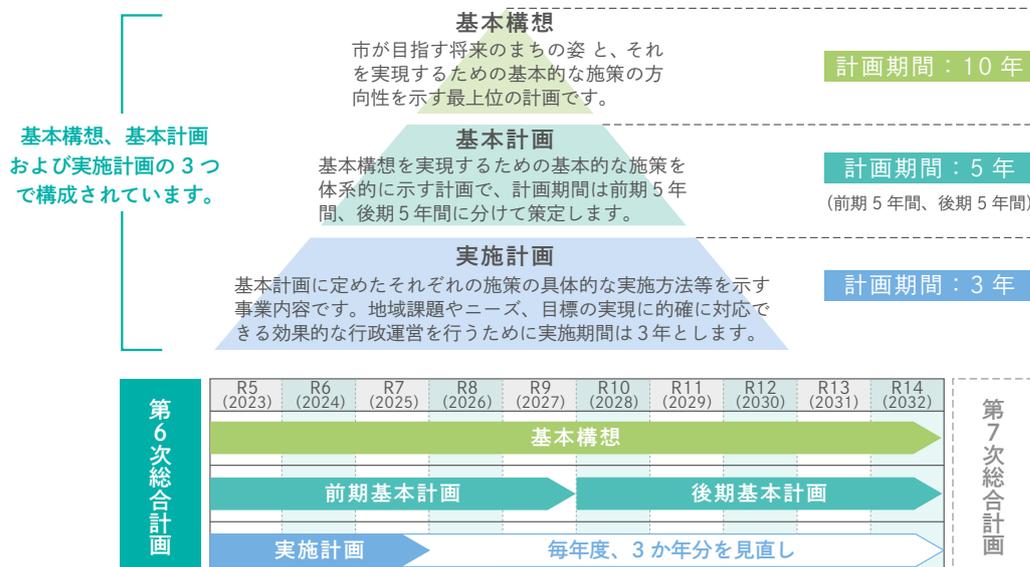
総合計画は、飯山市が目指す 10 年後の将来のまちの姿を描き、その実現に向けた方向性や目標を示したまちづくりの基本方針となる市の最上位に位置付けられる計画です。

本市では、平成 25（2013）年に飯山市第 5 次総合計画を策定し、将来のまちの姿に「自然と共生する豊かな暮らし『技と縁のまち 飯山』」を掲げ、まちづくりを進めてきました。同計画の策定から 10 年が経過し、人口減少・少子高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症のまん延による人々のライフスタイルの多様化やデジタル技術の急速な進化など飯山市を取り巻く状況は大きく変化しています。

このような時代の変化に対応して、市民・事業者・団体・行政などまちづくりに関わる全ての担い手が、将来のまちの姿の実現に向けて協働で取組を進めていけるよう、第 6 次総合計画を策定します。

2 計画期間と構成

計画期間は、令和 5（2023）年度から令和 14（2032）年度までの 10 年間です。



3 飯山市を取り巻く社会の潮流

(1) 人口減少・少子高齢化

日本全体の人口減少・少子高齢化が進むなか、平成 29 (2017) 年推計の国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」によると、将来の人口は令和 7 (2025) 年にはおよそ 1 億 2,254 万人、令和 32 (2050) 年にはおよそ 1 億 192 万人になると予測されています。また、人口の年齢構成も少子高齢化によって大きく変わり、年少人口 (0~14 歳) が総人口に占める割合が低下するだけでなく、生産年齢人口 (15~64 歳) が総人口に占める割合も低下していくことが見込まれます。

平成 12 (2000) 年時点の生産年齢人口は 8,638 万人で、総人口に占める割合は 68.1% となっていますが、これが令和 32 (2050) 年にはそれぞれ、およそ 5,275 万人、51.8% にまで低下することが見込まれています。生産年齢人口の減少は、労働力の減少により経済成長の制約となり、総人口に占める生産年齢人口の割合の低下は、支え手の減少を通じ、社会保障制度の基盤を不安定なものにすることが懸念されています。

(2) SDGs の推進

SDGsとは、平成 27 (2015) 年9月の国連サミットで採択された国際社会における令和 12 (2030) 年までの開発目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた取組が求められています。

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による社会構造の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「都市集中型社会」から「地域分散型社会」への変化により、地方暮らしに関心が高まっています。

感染防止策として、「密集 密接 密閉 (三密)」を避けるため、働き方や経済活動・地域活動のあり方の見直しが進んでいます。

(4) 社会全体のデジタル・トランスフォーメーション (DX) の推進

デジタル技術の急速な進化や、データの多様化・大容量化が進展し、その活用が不可欠となりました。また、新型コロナウイルス感染症の対応において、地域・組織間で横断的にデータが十分に活用できないことなど様々な問題が明らかとなりました。このことから、デジタル化の遅れに対して迅速に対処するとともに、「新たな日常」の原動力として、制度や組織のあり方等をデジタル化に合わせて変革していく、言わば社会全体のデジタル・トランスフォーメーション (DX) が求められています。

(5) 自然災害の甚大化と気候変動に対する取組

「気候危機」とも言われる地球温暖化が進むなか、その影響の一つとして自然災害の甚大化が考えられています。今後、温室効果ガスの排出量削減に向けた、環境配慮行動や省エネルギー機器の導入等の従来の緩和策に加え、防災対策や熱中症対策等の適応策も講じる必要があります。

国は「2050年カーボンニュートラル」を宣言しており、達成に向けて再生可能エネルギーの活用など脱炭素社会の実現に向けた取組が求められています。

(6) ダイバーシティ社会の実現

持続可能な地域社会を実現するためには、年齢や性別、国籍、人種、障がいの有無、性的指向・性自認等に関わりなく、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮することができ、多様性が受容されるダイバーシティ社会を実現していくことが必要です。

(7) エネルギーと食料の安定供給

エネルギーについては、石油等の限られた化石燃料に依存しすぎることなく、安全性と環境に配慮した再生可能エネルギーの導入による自給自足の取組等で、エネルギーの安定供給を図る必要があります。

また、世界の食料需給の長期的なひっ迫が懸念されるなか、新型コロナウイルス感染症の拡大や、ロシアのウクライナ侵攻により輸入国間の競合等の懸念が生じており、食料の安定した供給や自給率の向上が重要となっています。

4 飯山市の現状

(1) 第5次総合計画の総括（概要）

後期基本計画に掲げた4つの重点目標ごとにまとめました。

仕事と子育てのまるごと応援で若者が住みたくなるまちづくり

- ▶ 若者世代に向けた移住・定住促進に関する支援やきめ細かな相談体制により、30代の若者世代を中心に移住者は増加傾向で、令和3（2021）年度の移住者数は過去最高の174人となりました。

若者の起業支援に関する取組では、「起業支援補助事業」により、平成26（2014）年度から令和3（2021）年度まで41件の起業を支援しました。

- ▶ 子どもを安心して育てられる環境づくりのため、福祉医療費の給付対象を18歳まで拡充しました。また、第3子以降の保育料無償化〔令和元（2019）年10月からは国の制度により「3歳以上保育料無償」〕に加えて、満1歳からの保育、保育時間の延長、土曜日保育・休日保育、副食費の無償化を実施したほか、保育料の階層区分を細分化し、保護者の負担軽減を図りました。さらに、子育て支援の拠点施設として飯山市子ども館「きらら」を整備し、子育てに関する総合的な支援を進めました。



自然環境と高速交通網を活用した産業を育成するまちづくり

- ▶ 平成27（2015）年春の北陸新幹線飯山駅開業後、駅周辺には複数の新たな商業施設が進出するなど新たな賑わいが生まれました。また、賑わい創出拠点として、令和3（2021）年度に民間事業者との基本協定により市も支援するなかで、飯山駅前市有地にホテルの建設が決定しました。

- ▶ 飯山の「農産物」と地元の食材を活かした「食」の充実を図るため、道の駅「花の駅 千曲川」に、農産物直売所とレストラン等の機能を兼ね備えた農業観光振興拠点施設を整備しました。また、アクティビティ拠点施設の建設にも着手し、総合的な道の駅とすることで、飯山市の魅力の発信と併せ、交流人口の増加に向けた取組を進めました。



防災体制と医療介護体制の充実で親も子どもも安心できるまちづくり

- ▶ 自然災害等に対する防災体制の強化、誰もが安心して暮らせる環境整備に向け、新たにデジタル防災行政無線の整備を行うとともに、屋外スピーカーの設置やメール配信サービスなど情報伝達の多重化を図りました。
- ▶ 地域中核医療機関の機能充実に向けた支援を行うほか、医学生奨学金や医師研究資金の貸付を拡充することにより、飯山赤十字病院の勤務医不足に対して、医師招聘を推進しました。また、高齢者等世帯の屋根の雪下ろし等の費用に対する支援や緊急時避難路確保を目的とした除雪作業員による除雪支援、地域の皆さんが取り組む除雪支援の活動への支援など雪国ならではの除雪に対する取組を行いました。



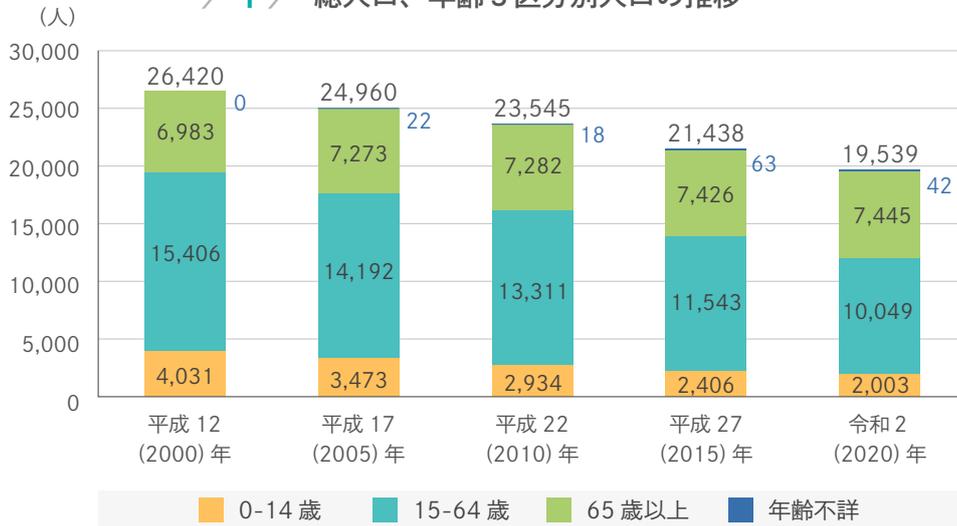
ICT教育と国際交流を通じて生きていく力と郷土愛を育成するまちづくり

- ▶ 児童生徒の国際感覚および英語コミュニケーション能力の向上を目指し、小・中学校への外国語指導助手の増員を行うほか、これからの時代に対応するため、STEM教育を導入し、プログラミング教育を進め、グローバルに活躍できる児童・生徒の育成を推進しました。
- ▶ 飯山の新たな学校の目指すべき姿と保育園のあり方や児童クラブ・児童センター等の考え方を示した「飯山の新たな学校づくり計画」を策定し、令和7（2025）年度の開校に向けた城北中学校区の統合小学校整備に着手しました。



(2) 飯山市の人口動態

1 総人口、年齢3区分別人口の推移

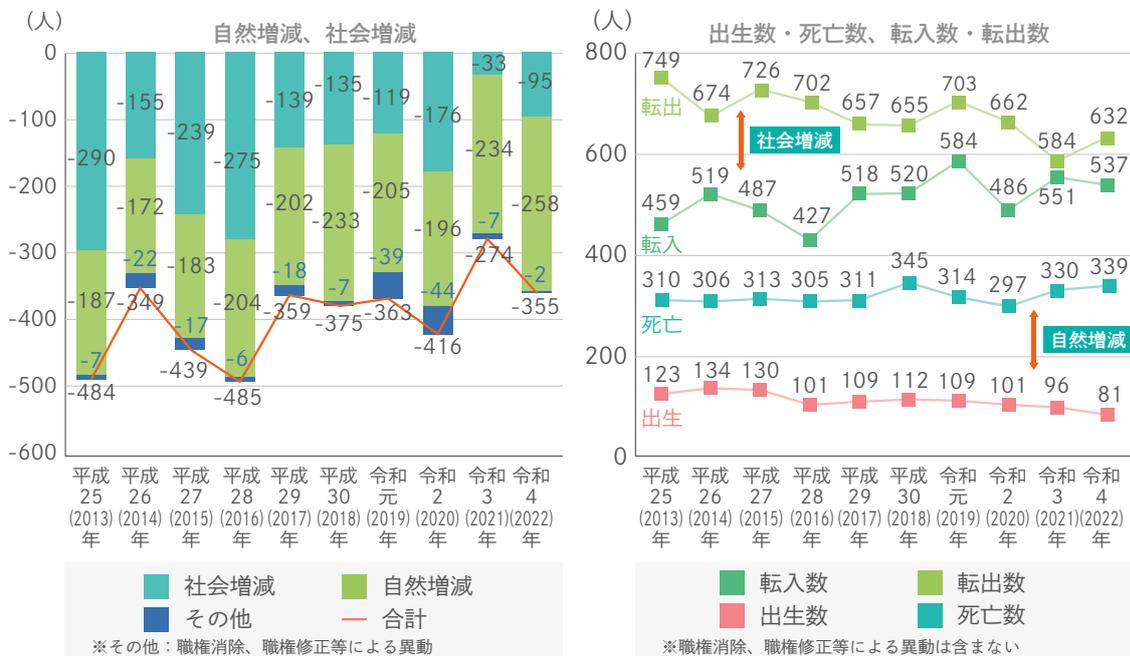


資料：国勢調査

Point

- 総人口は減少傾向、65歳以上人口は増加傾向です。

2 自然増減・社会増減



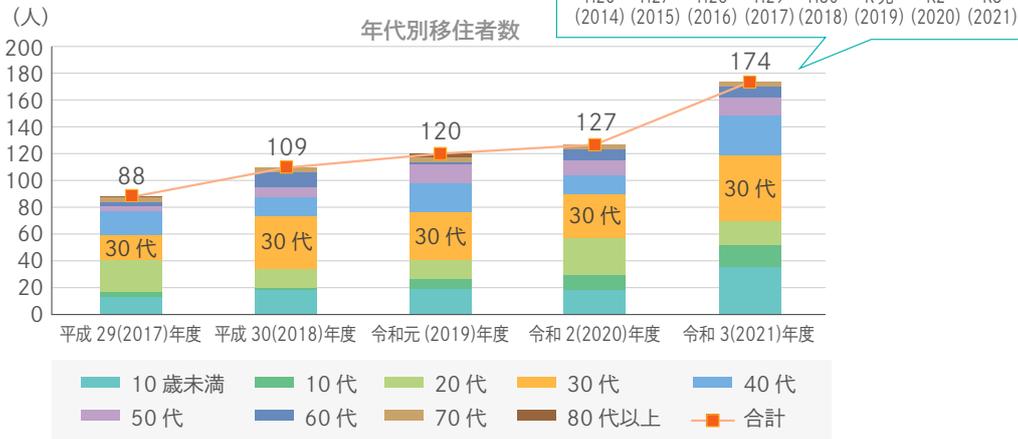
資料：市ホームページ「人口、世帯数（毎月人口異動調査結果に基づく推計人口）」再編加工

【注記】年次データ

Point

- 社会減は近年改善傾向です。
- 出生数は近年減少傾向です。

／ 3 ／ 近年の移住者数



Point

- 住宅建設や通勤等の各種支援、きめ細かな相談体制により、30代の若世代を中心に移住者は増加傾向で、令和3(2021)年度の移住者数は過去最高の174人となり、社会減の改善につながりました。

移住者アンケート調査

令和元(2019)年度から令和3(2021)年度までに移住し、移住等の補助金対象者、空き家バンクや移住定住促進住宅への居住者など市を介した移住者を対象に、移住時および移住後の状況をアンケートにより調査しました。

【飯山を選んだきっかけ・理由】

「地元だから」「実家が近いから」という理由が一番多く、次いで飯山の「自然・環境・景色」を理由にした方が多い状況です。

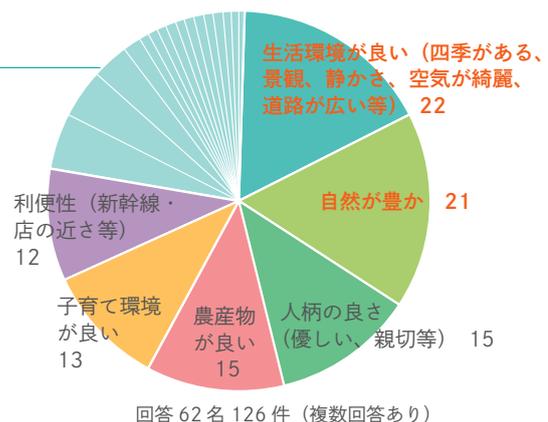
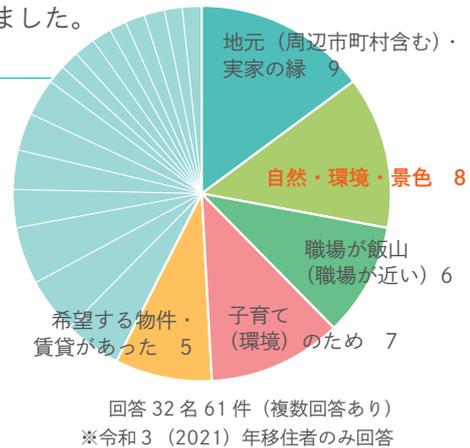
【移住してよかったこと】

「生活環境が良い」「自然が豊か」の回答が多く、関係性の高い「子育て環境の良さ」の回答と合わせると全体の約半数になります。

また、飯山の「人柄の良さ」や「農産物」、「新幹線やスーパー等の距離などの利便性」を挙げている方も多く、これらも飯山の魅力であると言えます。

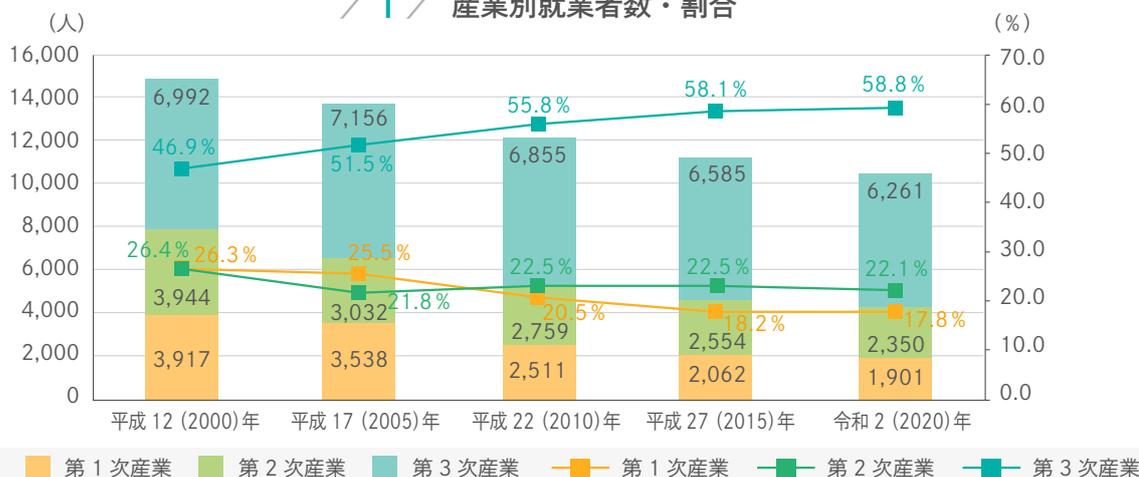
Point

- 豊かな美しい自然環境と、この地に住む人々のひたむきな努力によって形づくられてきた里山が、選ばれる理由となっています。



(3) 産業

／ 1 ／ 産業別就業者数・割合



※分類不能の産業は含まない。

資料：国勢調査

Point

- どの産業分類の就業者数も減少しています。
- 第3次産業の就業者割合が増加しています。

(人)

	平成 12 (2000)年	平成 17 (2005)年	平成 22 (2010)年	平成 27 (2015)年	令和 2 (2020)年
第1次産業	3,917	3,538	2,511	2,062	1,901
農業	3,891	3,531	2,472	2,023	1,862
林業	23	7	39	39	38
漁業	3	-	-	-	1
第2次産業	3,944	3,032	2,759	2,554	2,350
鉱業・採石業・砂利採取業	3	4	6	10	3
建設業	1,923	1,529	1,210	1,118	1,033
製造業	2,018	1,499	1,543	1,426	1,314
第3次産業	6,992	7,156	6,855	6,585	6,261
電気・ガス・熱供給・水道事業	47	45	45	38	42
運輸・通信業	619	531	-	-	-
情報通信業	-	-	89	91	94
運輸業・郵便業	-	-	535	458	397
卸売・小売・飲食店	2,242	1,969	-	-	-
卸売業、小売業	-	-	1,714	1,554	1,481
金融業、保険業	138	136	111	95	88
不動産業	25	29	-	-	-
不動産業、物品賃貸業	-	-	61	61	57
サービス業	3,423	3,982	-	-	-
学術研究・専門・技術サービス	-	-	187	175	177
宿泊業、飲食サービス業	-	-	733	710	645
生活関連サービス業、娯楽業	-	-	372	342	343
教育、学習支援業	-	-	431	385	393
医療、福祉	-	-	1,348	1,413	1,435
複合サービス業	-	-	307	330	249
サービス業 (他に分類されないもの)	-	-	515	473	465
公務 (他に分類されないもの)	498	464	-	-	-
公務 (他に分類されないものを除く)	-	-	407	460	395
分類不能の産業	68	158	150	137	142
計	14,921	13,884	12,275	11,338	10,654

※総数には、分類不能の産業を含む。

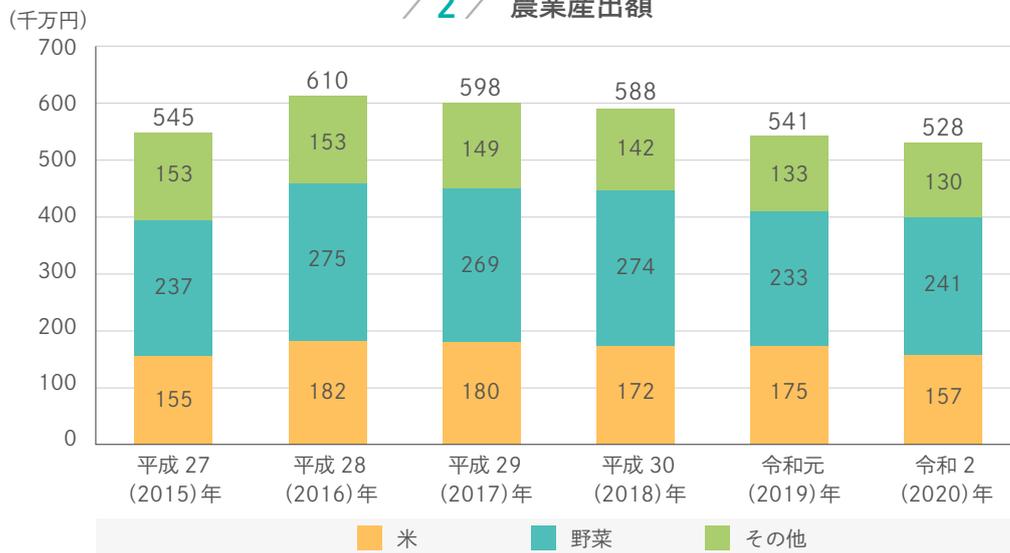
※平成 19 (2007) 年から日本標準産業分類が変更されている。

資料：国勢調査

Point

- 令和 2 (2020) 年の第1次産業の就業者数は平成 12 (2000) 年の約半数となっています。
- 第3次産業の就業者数では、情報通信業、医療・福祉が増加傾向です。

／ 2 ／ 農業産出額



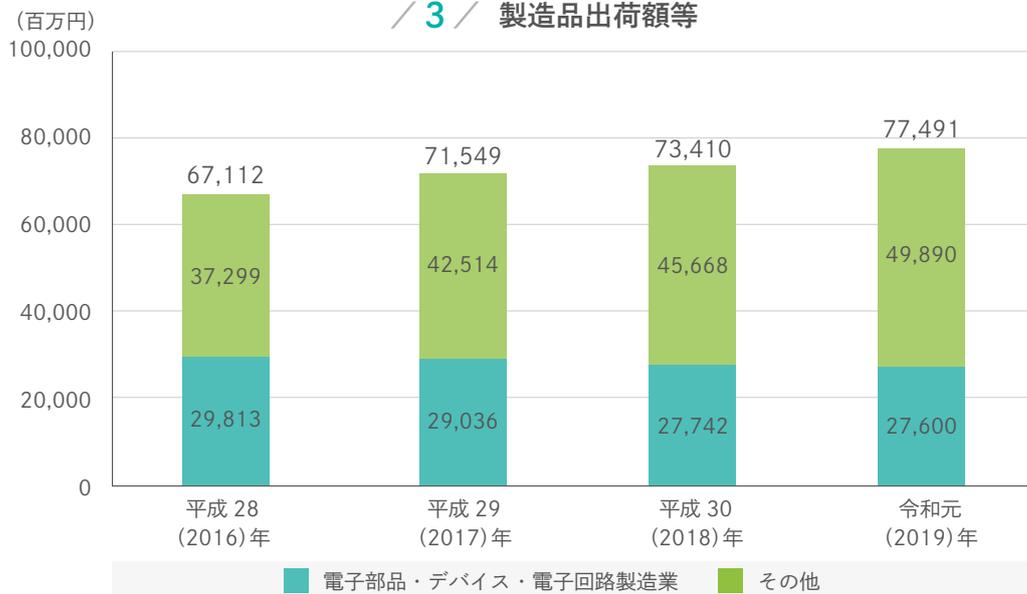
※菌茸は含まない

資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」

Point

- 野菜と米で産出額の7割以上を占めています。

／ 3 ／ 製造品出荷額等

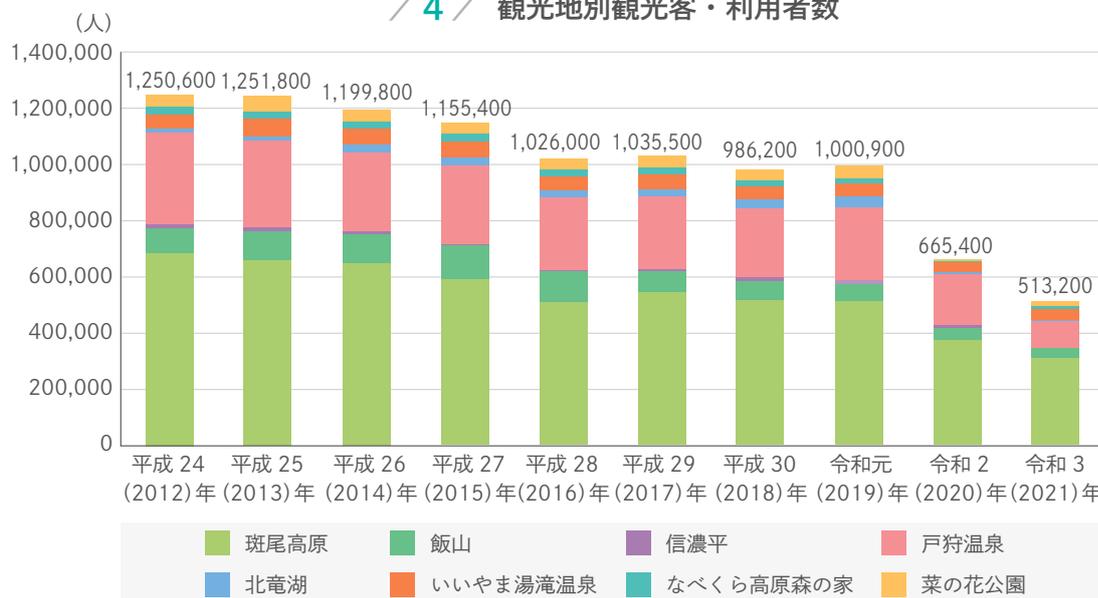


資料：経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

Point

- 製造品出荷額等は増加傾向です。
- 令和元（2019）年では、電子部品・デバイス・電子回路製造業が全体の約36%を占めます。

／ 4 ／ 観光地別観光客・利用者数



資料：商工観光課資料

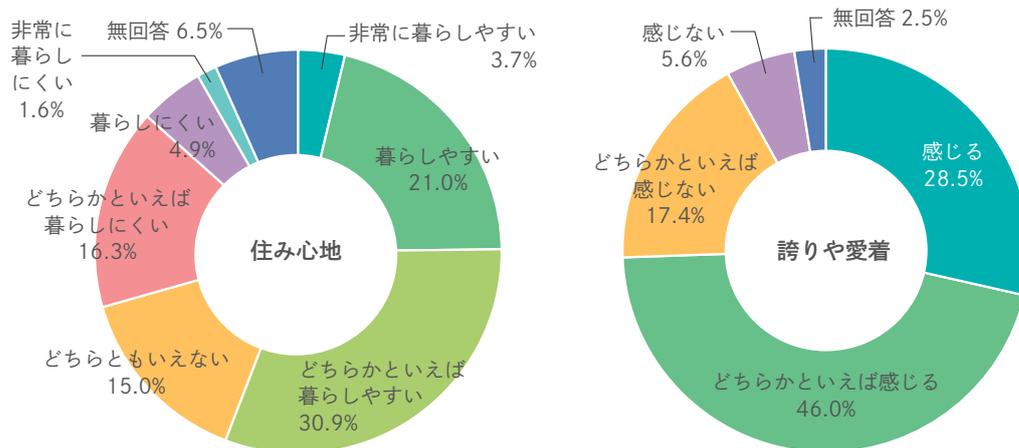
Point

- 斑尾高原が全体の約半数を占め、経年変化では概ね減少傾向にあります。
- 令和 2 (2020) 年と令和 3 (2021) 年は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しました。

(4) 市民のニーズ

／ 1 ／ まちづくり市民アンケート調査 (1,338人の回答)

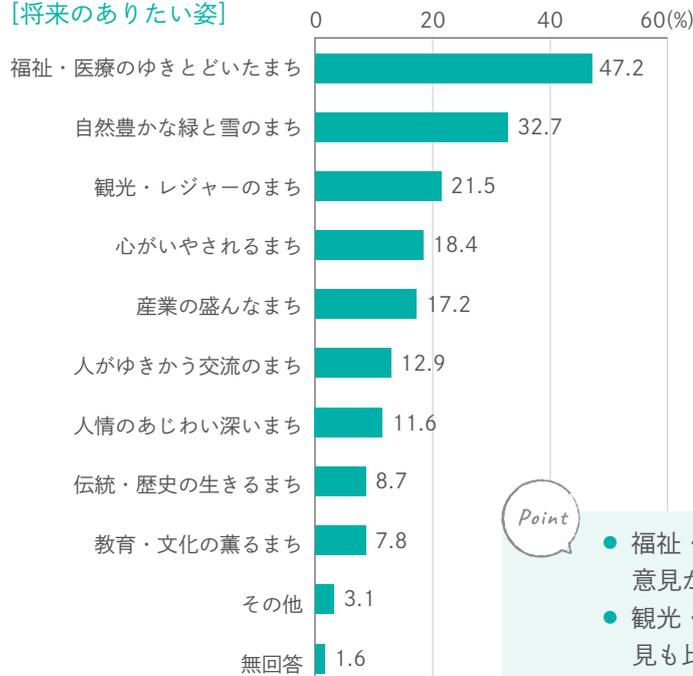
[住み心地・誇りや愛着]



Point

- 暮らしやすいと感じる人は合わせて約 56%です。なお、暮らしにくいと感じる人は合わせて約 23%です。
- 誇りや愛着を感じる人は約 75%です。なお、誇りや愛着を感じない人は 23%です。

[将来のありたい姿]



Point

- 福祉・医療や自然を重視する意見が多い状況です。
- 観光・レジャーを重視する意見も比較的多く見られます。

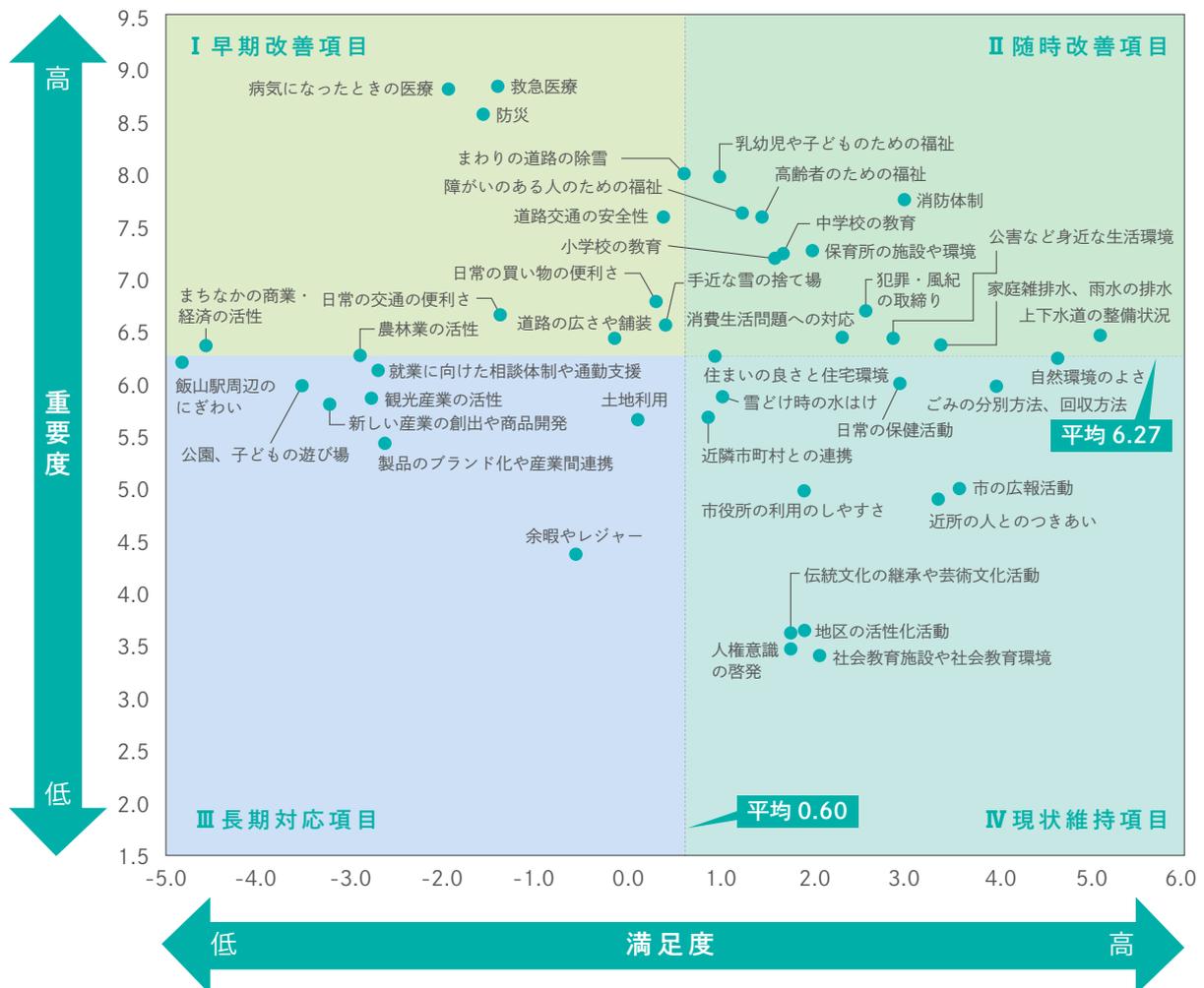
[生活環境の満足度と重要度]

生活環境に対する市民の満足度・重要度について、満足度・重要度の以下の各段階に得点を付与し、それぞれの得点に回答者の割合（選択肢「わからない」と無回答を除いた数を基に計算）を乗じ、その和をそれぞれの項目の点数とします。

- ・満足度→ 満足：10点 やや満足：5点
やや不満：-5点 不満：-10点
- ・重要度→ 重要：10点 やや重要：5点
あまり重要ではない：-5点 重要ではない：-10点

点数化した各項目を散布図に示し、満足度・重要度の平均と比べて高いか低いかによって、取り組む優先度の高い順にⅠ～Ⅳの4つの象限を設定しました。

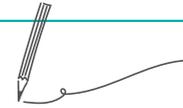
- Ⅰ 早期改善項目：優先的に改善を望んでいる分野
- Ⅱ 随時改善項目：現在の水準を維持および向上を望んでいる分野
- Ⅲ 長期対応項目：優先度は低いが改善を望んでいる分野
- Ⅳ 現状維持項目：現在の水準の維持を望んでいる分野



Point

- 重要度も満足度も高い政策分野は、主に環境保全や福祉・教育・消防です。
- 重要度が高いものの満足度が低い政策分野は、主に医療・防災・道路・雪対策です。

／ 2 ／ 小中学生アンケート

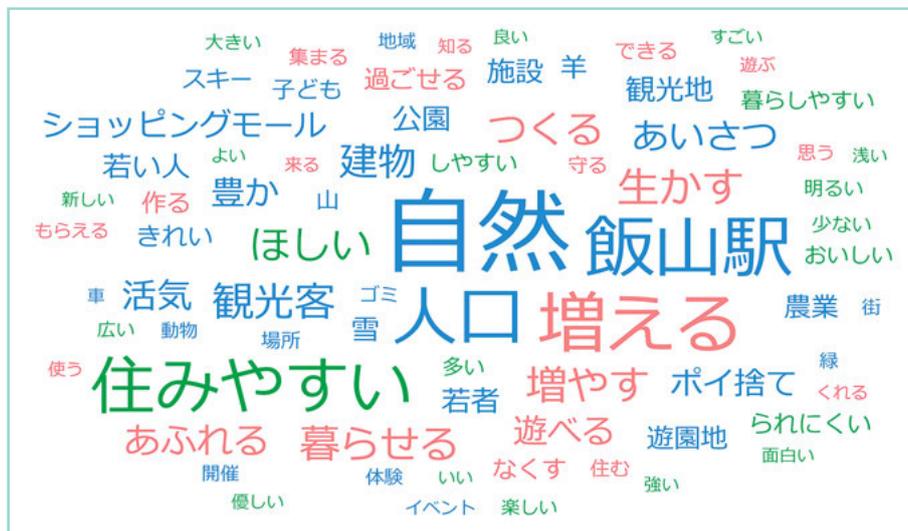


[ミライ提案シート]

市内の小中学生に、飯山市の10年後の“ミライ”の姿（将来像のイメージ）を描いていただきました。



飯山市の「いいところ」や「将来像のイメージ」をイラスト等で表現



AI分析…将来像の提案に関する単語分析

提案の一つひとつをテキスト化し、スコア [その単語の「重要度」を表す値 (特徴的な単語)] が高い単語を複数選り出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。

Point

- 「自然」や「飯山駅」を活かして「観光客」や「人口」を「増やす」など多くの提案がありました。

5 飯山市の課題

社会の潮流、飯山市の現状および第5次総合計画の施策の評価等から、5つの分野に分け、主な課題を整理します。

1 自然環境・移住定住・観光交流・ 新たな価値の創出

- 飯山市の美しい四季のある自然環境を守るとともに、その魅力を最大限活用し、飯山ならではの新たな価値を生み出すことが必要です。
- デジタル技術の進化やライフスタイルの多様化により、都市部の企業においてはテレワークやワーケーション、プレジャーなど新しい働き方も注目されていることから、豊かな自然環境を活かし積極的な誘致や支援とともに、ニーズに対応した環境整備が必要です。
- 市への関心や愛着の向上を図るとともに、定住人口、交流人口、関係人口の創出・拡大に向けた効果的な情報発信と戦略的なプロモーションが必要です。
- 北陸新幹線飯山駅開業によるインバウンドへの波及効果は大きいと見られ、更なる冬期誘客に努めるとともに、グリーン期においても外国人の関心度の高いコンテンツの充実を図ることが必要です。
- 地方への移住希望の機運が高まっています。本市が選ばれる地域となるよう、多様化するニーズに対応した支援や制度の整備が必要です。
- 地球温暖化による気候変動の影響は、本市にも猛暑・大雨・豪雪・寡雪など顕著に表れています。気候変動を緩和するため、再生可能エネルギーの活用や脱炭素社会への転換が強く求められているとともに、適応策を検討する必要があります。
- 市民の環境に対する興味や関心を高め、環境を学ぶ姿勢や豊かな自然環境を保全する住民主体の取組を後押しする必要があります。
- 公共施設等の未利用施設の活用のほか、空き家や耕作放棄地等が周辺環境へ深刻な影響を及ぼしていることから、早期の対策が必要です。

2 子育て・教育

- 子育てを取り巻く社会環境や家庭環境など様々な環境の変化に対する各家庭の状況把握と改善に向けた支援が必要です。
- 妊娠・出産・子育てまで、一人ひとりの希望が叶うよう、切れ目のない支援が必要です。
- 基礎学力の確保に加え、問題の論点を整理し課題解決できる力を身に付ける取組が必要です。
- ふるさとに誇りを持つとともに、地域の課題に向き合うことで地域の一員として地域づくりを行ったり地域を大切にしたりする心を培うため、ふるさとを学ぶ機会を提供することが必要です。
- ICT教育・プログラミング教育の推進や、国際化社会に対応するための外国語教育を含めた国際化教育の強化が必要です。

3 地域産業・雇用

- 市民アンケート調査では、飯山駅周辺の賑わいに関する満足度が低く、事業者や商業施設等の誘致が求められています。
- 農業就業人口の減少や高齢化に伴い、農地が適切に利用されなくなることが想定されるため、新規就農者の確保・育成を図るほか、地域の協議により将来の農地利用の姿を明確化する必要があります。
- 地域経済を支える市内企業の育成や雇用の確保等の支援、デジタル技術の活用および産業連携等によるイノベーションに向けた取組が必要です。
- 伝統文化の継承や産業の振興を図るため、後継者の確保や人材育成への支援が必要です。
- ライフスタイルや価値観の多様化に応じた柔軟な働き方へ改革が求められています。

4 市民協働・生きがい・文化

- 若者の力をこれからの飯山の活力につなげられるよう、コミュニティの場づくりや新たな取組にチャレンジできる仕組みづくりが必要です。
- 市民一人ひとりが地域課題を自分事として捉え、課題解決に向けて市民協働で取り組むことが必要です。
- 結婚希望者の成婚へつながる支援として、婚活イベント等の出会いの場の提供だけでなく、結婚希望者の個別サポートが必要です。

- 飯山で生きがいをもって住み続けることができるよう、時代の変化に合わせた知識やスキルの習得などリカレント教育（大人の学び）の場が必要です。
- 互いを尊重し、支え合いながら暮らせる地域づくりが必要です。
- 芸術文化の振興を図るため、市民が芸術文化に触れる機会をより多く創出することが必要です。
- 市内にある文化財や歴史的景観を適正に保存し、後世に伝えていくことが必要です。
- 健康増進や体力向上を図るため、それぞれの年代で気軽に多種多様なスポーツを楽しむ環境づくりが必要です。

5

公共交通・医療・福祉・インフラ・ 防災・行財政

- 市民アンケート調査では、市民が願う市の将来像として「福祉・医療のゆきとどいたまち」が最も高いことから、地域中核医療機関への支援や救急体制の確保、介護サービスの充実などいつまでも安心して暮らせるよう一層の取組が求められています。
- 飯山赤十字病院における医師不足を解消するため、医師の招聘と将来の医師の確保を図る必要があります。
- 人口減少や少子高齢化により、地域のつながりが希薄になったり、コミュニティ活動が低下するなどの傾向があるため、地域福祉の担い手の確保をはじめ、地域で支え合う仕組みや行政のサポートが必要です。
- 集落と市街地や他の地域を結ぶ移動手段、飯山駅を起点とした二次交通など市民や来訪者の様々なニーズを踏まえ、効率的で利便性の高い公共交通網の形成が必要です。
- 道路、橋りょう、上下水道等の老朽化への対応や強靱化を推進するため、限られた財源のなかで、計画的な施設整備が必要です。
- 流域治水や土砂災害対策を進めるとともに、ハザードマップの作成・周知等で災害時に避難場所への早期避難を促し、リスクを低減させる必要があります。
- 災害が激甚化・頻発化しているため、国や県をはじめ関係機関と連携を密にした防災体制の構築や、日々進化するテクノロジーの活用による災害予測・対応を図るとともに、自主防災組織を中心とした地域の助け合い等の仕組みづくりが必要です。
- 市民サービスの向上を図るため、一層の財源確保に努めるとともに、事務事業の見直しや民間・都市間連携を進めるなど持続可能な行財政運営への取組が必要です。

6 第6次総合計画の方向性

全国的な人口減少・少子高齢化が急激に進行します。今後、生産年齢人口が減少するため地域経済の縮小による税収減や社会保障費の増加により行政サービス水準の維持が困難になるなどの影響が危惧されます。

また、地域の担い手が不足し、これまでの集落活動が維持できなくなるなど地域コミュニティ機能の低下にも大きく影響します。

一方で、デジタル技術の急速な進化や働き方改革の推進など社会情勢に大きな変化がみられるなか、新型コロナウイルス感染症のまん延を契機に、人々の暮らし方や働き方に関する価値観の大きな変化により、ライフスタイルの多様化や大都会の便利な暮らしから地方での豊かな暮らしを選ぶ時代となりました。

これまでの10年間、豊かで恵まれた自然環境の中で、その魅力を高めながら、北陸新幹線飯山駅開業を契機に、子どもから高齢者まで住みやすく、安心やゆとりが実感できる「自然と共生した新たな価値創造の都市」を目指し、令和元年東日本台風による被災や新型コロナウイルス感染症のまん延による影響を受けながらも市民・団体・事業者・行政が一丸となり、まちづくりに取り組んできました。

飯山市の最大の魅力は、季節の移ろいが豊かな美しい自然環境と、この地の人の営みによって育まれてきた「里山」が、世界を誘う玄関口「北陸新幹線飯山駅」を包み込むように広がっていることです。この飯山ならではの「里山」が、30代の若者世代を中心とした日本人だけでなく外国人をも移住先として惹きつける魅力となっています。

これからの10年間、飯山市のあらゆる地域資源の可能性を最大限に引き出し活用するとともに、デジタル技術の急速な進化や新型コロナウイルス感染症の影響による人々のライフスタイルの変化など時代の変化を的確に捉え、訪れたい・住みたい・暮らし続けたいと思われる「世界に誇れる里山」を目指し、一人ひとりが未来を考え知恵を出し合いながらまちづくりを進めます。

これまで高め続けた魅力

豊かな自然と里山が織りなす景観、産業、文化、歴史、地域のつながり等

「訪れたい・住みたい・暮らし続けたい」と思う人を増やす

地域資源

恵まれた自然環境・景観
北陸新幹線飯山駅 等



最大限 活用する



チャンス に変える
課題解決に 挑戦する

時代の変化

デジタル技術の進化、
ライフスタイルの変化、
ダイバーシティ、気候変動、
SDGs 等

一人ひとりが飯山の未来を考え、知恵を出し合い、「世界に誇れる里山」を目指します

飯山市第6次総合計画の実行



第

2

章

基本構想



第 2 章

基本構想

1 将来のまちの姿

飯山市が目指す 10 年後の将来のまちの姿は次のとおりです。

きょうそう 飯山郷創

～世界にひらく 里山の未来～

飯山郷創

このまちは、雪国ならではの恵みに育まれた豊穡の地と、そこに世界を誘う玄関口「北陸新幹線飯山駅」を有している郷ふるさとです。これまで長い年月を経て、自然を守り、文化を生み出し、歴史を築き、地域固有の風土を形成してきました。

いま、時代の大きな転換期を迎え、変化を求められています。皆で知恵を出し合い、質の高い地域資源を活用して魅力的な郷ふるさとをつくり出します。

世界にひらく

このまちは、誇りある郷ふるさととして、世界に「飯山市」を発信します。そして、多様性を認め合い、「訪れたい」「住みたい」「暮らし続けたい」と思う人を増やし、交流と定住の促進につなげます。

里山の未来

このまちは、季節の移ろいが豊かで美しい自然が広がる「里山」です。一人ひとりが里山の価値を見つけ出し、この里山の未来を創り出す「クリエイティブな里山」を目指します。

2 基本目標

「将来のまちの姿」の実現を目指すため、各行政分野のありたい姿を5つの基本目標として定めます。

時代の変化に対応するための共通テーマ

- デジタル技術を最大限活用
- カーボンニュートラルの取組
- 新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化
- 広域連携の推進
- 公民連携の推進
- 健全な行財政運営の推進
- SDGs 推進

地域資源の最大限活用

- 自然環境・景観
- 北陸新幹線飯山駅

1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち

[新価値創出・起業支援、自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用、観光・交流・関係人口、住宅・移住定住、魅力発信、デジタル化]

2 未来を拓く子どもたちが 育つ共育のまち

[子育て、教育]

3 世界に誇れる技術を持ち、 産業が活発なまち

[農林業、商工業、伝統産業]

4 一人ひとりが生きがいをも って挑戦できるまち

[市民協働・ダイバーシティ、生涯学習、文化、スポーツ]

5 安全で安心して 暮らしを愉しめるまち

[公共交通、健康、福祉・介護、医療、防災減災、道路、公園、上下水道、防犯・交通安全、消防・救急、消費者保護、克雪、集落維持、行財政]

基本計画で分野毎の施策を定めます

3 基本目標毎の取組



基本目標
1

美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち

- 飯山市の地域資源を磨くとともにその魅力を最大限引き出し、発想の転換による創出・再生・連携等、新たな時代に挑むことで価値を生み出し、先端産業の創出や多様なライフスタイルが実現できるまちを目指します。
- 季節の移ろいの豊かさを感じる美しい自然環境を守り、まちの魅力を世界に発信し、飯山市ファンの増加、移住定住につなげていきます。
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入等によるエネルギーの地産地消と、省エネ技術の導入に取り組みます。

【行政分野】

新価値創出・起業支援、自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用、観光・交流・関係人口、住宅・移住定住、魅力発信、デジタル化



基本目標
2

未来を拓く子どもたちが 育つ共育のまち



- 「飯山市で子どもを産み育てたい」と思うような、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない子育て世代への支援を推進します。
- 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を進め、情報、外国語、科学技術、環境、スポーツ等、新たな時代に対応して未来を拓く力をつける学校教育を推進します。
- 家庭や地域等との連携による子育て支援や、まち全体を学びの場とした「日本に誇れる子育て環境のまち」を目指します。

【行政分野】
子育て、教育



基本
目標
3

世界に誇れる技術を持ち、 産業が活発なまち



- 産業のスマート化を促進するとともに、時代に呼応した農林業・商工業の活性化を図り、世界に誇れる多様で活発な経済活動を生み出すまちを目指します。
- 飯山市が誇る伝統産業の継承や時代に対応したイノベーションを支援します。
- 多様で柔軟な働き方への支援や飯山市への就労促進を図り、産業の担い手や後継者を確保します。

【行政分野】

農林業、商工業、伝統産業



基本目標
4

一人ひとりが生きがいをも って挑戦できるまち

- 年齢や性別、国籍、人種、障がいの有無、性的指向・性自認等に関わらず、誰もが個性や能力を発揮し活躍できるまちづくりを進めます。
- 市民・団体・事業者等がアイデアを出し合いながら協働で進めるまちづくり活動を支援します。
- 学習やスポーツ、文化・芸術活動に生涯取り組むことができる環境づくりを進め、生きがいづくりや挑戦を応援し、一人ひとりの夢や希望が叶えられるまちを目指します。
- 市内にある有形無形の文化財および文化的景観の保存や活用を図るとともに、その魅力を世界に発信します。
- 新型コロナウイルス感染症の影響や急速に進化するデジタル技術等、これからの時代に対応した技能を身に付け、豊かなライフスタイルを実現するため、リカレント教育を推進します。

【行政分野】

市民協働・ダイバーシティ、生涯学習、文化、スポーツ



安全で安心して 暮らしを愉しめるまち

- 持続可能な都市構造と効率的で効果的な公共交通体系により、生活環境の維持・向上を図ります。
- 過去の災害の教訓を活かし、将来のリスクを想定するとともにデジタル技術を活用した防災・減災対策とインフラ整備を推進し、安全・安心なまちを目指します。
- 市民が健やかに暮らせるよう、医療体制、健康づくりや支え合いによる地域福祉の充実および各福祉サービスの推進を図ります。
- 市民が暮らしを愉しみ、いつまでも暮らし続けたいと思えるよう、時代に対応した集落のあり方を早急に検討します。
- 市民・団体・事業者と共に歩む行政の推進、健全な財政の維持を図ります。

【行政分野】

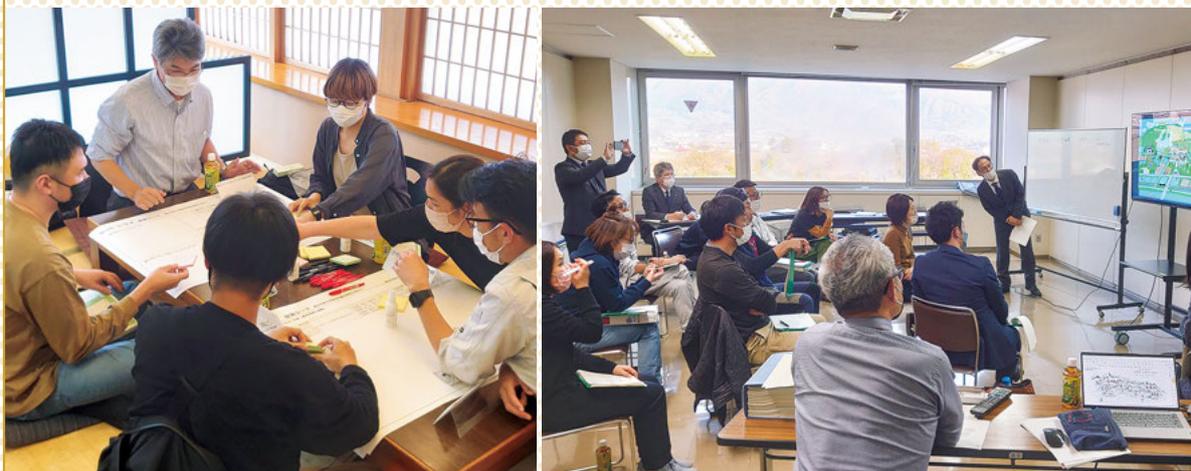
公共交通、健康、福祉・介護、医療、防災減災、道路、公園、上下水道、防犯・交通安全、消防・救急、消費者保護、克雪、集落維持、行財政

ぎょうそう 飯山郷創

～世界にひらく 里山の未来～

イメージ化

Photo gallery



市民アイデア会議、庁内アイデア会議のワークショップ風景



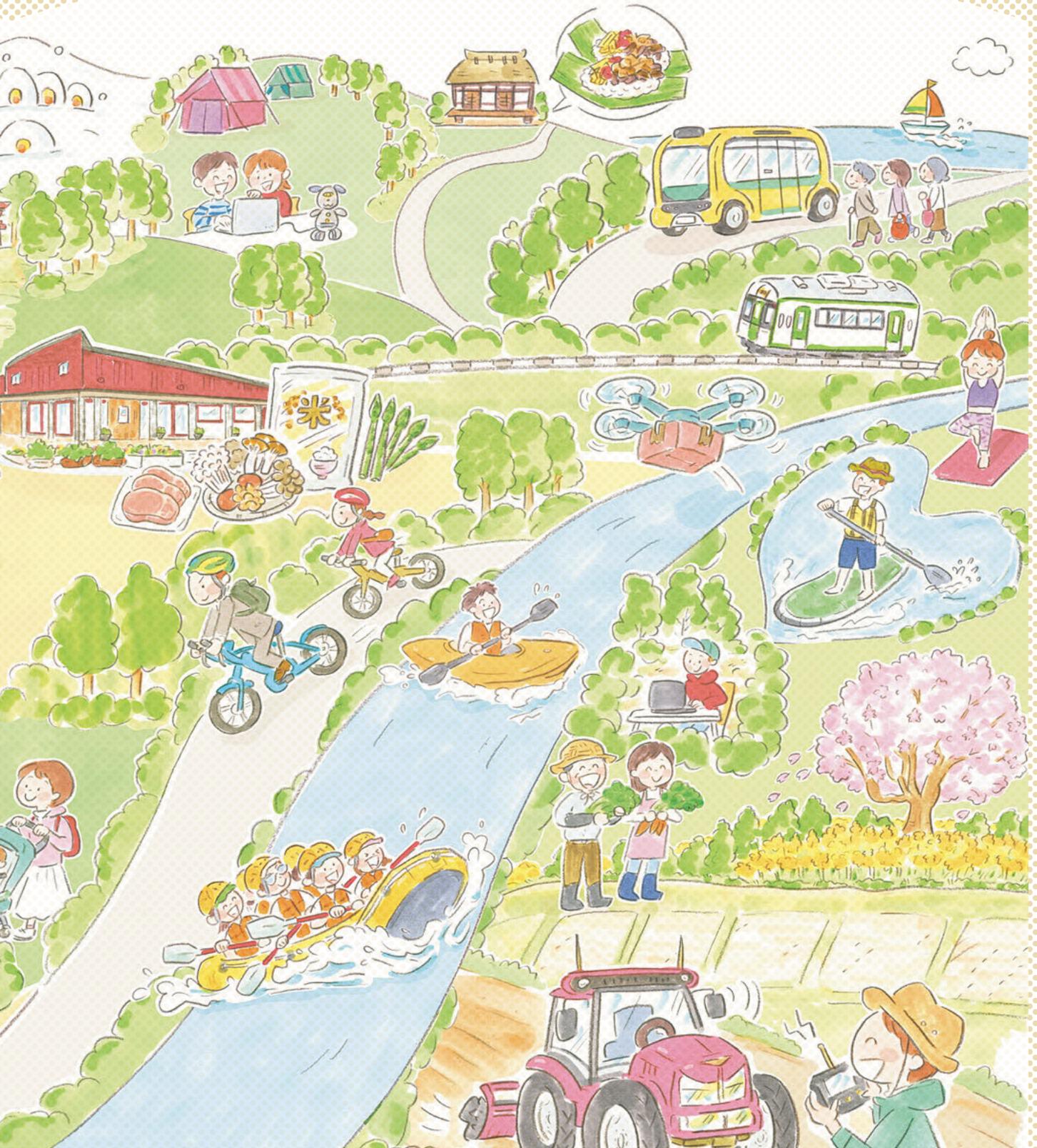
飯山市の未来図



きょうそう

飯山郷創

～世界にひらく 里山の未来～





IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

第

3

章



前期基本計画

第 3 章

前期基本計画

1 計画期間

計画期間は、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間です。

基本構想

市が目指す将来のまちの姿と、それを実現するための基本的な施策の方向性を示す最上位の計画です。

計画期間：10年

Check!

基本計画

基本構想を実現するための基本的な施策を体系的に示す計画で、計画期間は前期5年間、後期5年間に分けて策定します。

計画期間：5年

(前期5年間、後期5年間)

実施計画

基本計画に定めたそれぞれの施策の具体的な実施方法等を示す事業内容です。地域課題やニーズ、目標の実現に的確に対応できる効果的な行政運営を行うために実施期間は3年とします。

計画期間：3年

2 時代の変化に対応するための共通テーマ

将来のまちの姿の実現に向け、様々な施策を推進するに当たり、時代の変化に対応するための共通テーマを以下に掲げて取り組みます。

1

デジタル技術を最大限活用

デジタルは本市の様々な課題を解決するための鍵となります。また、新たな付加価値の創出につながることが期待できます。

これまで市民・団体・事業者・行政が一丸となり、まちづくりに取り組んできました。今後はこうした取組をデジタルの力を最大限に活用して更なる発展を目指します。

2

カーボンニュートラルの取組

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向け、本市では令和12（2030）年度までに市全体の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量を平成22（2010）年度比で62%減を目指し、地域の特性等を活かした取組を行います。この取組により、地球温暖化による気候変動の激化に対する危機感を認識・共有するとともに、地域経済の活性化や再生可能エネルギーの導入による新たな産業と雇用の創出、ブランド化につなげます。

3

新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化への対応

新型コロナウイルス感染症のまん延の影響により、人々の日常生活や働き方に対する価値観が変化しました。特に、大都会の便利な暮らしから地方の豊かな暮らしを選ぶ時代となりました。多様なライフスタイルのニーズに対応するための取組を行うとともに、本市の持つ地域資源を磨き、魅力を広く発信し、住む場所として「選ばれる地域」になることを目指します。

4

広域連携の推進

多様化する市民のニーズへの対応や、通勤・通学、医療、福祉など日常生活圏は市域を越えた需要が増加しています。必要な行政サービスが適切に提供できるよう、近隣自治体等と連携を図ります。

5

公民連携の推進

行政の資源やノウハウ等が限られる中で、より効率的・効果的に市民のニーズに対応していくため、行政と民間事業者等との連携により、民間事業者等のアイデアやノウハウを最大限活用した公共サービスを推進します。

6

健全な行財政運営の推進

人口減少・少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費や、老朽化する公共施設とインフラ資産の維持・更新等に係る経費が増加していく中において、多様化する市民のニーズに対応する必要があります。

このため、これまでの取組および手法等を見直し、限られた人材や財源等の行政資源を有効に活用し健全な行財政運営を推進します。

7

SDGs 推進

SDGs [持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略] は、平成 27 (2015) 年 9 月に「国連持続可能開発サミット」において採択され、令和 12 (2030) 年までに全世界で達成すべき 17 のゴール (目標) と 169 のターゲットが掲げられています。そして、SDGs を通じて経済・社会・環境の幅広い分野に関する多様な課題に取り組み、「誰一人取り残さない」を理念に、持続可能な社会の実現を目指すこととしています。

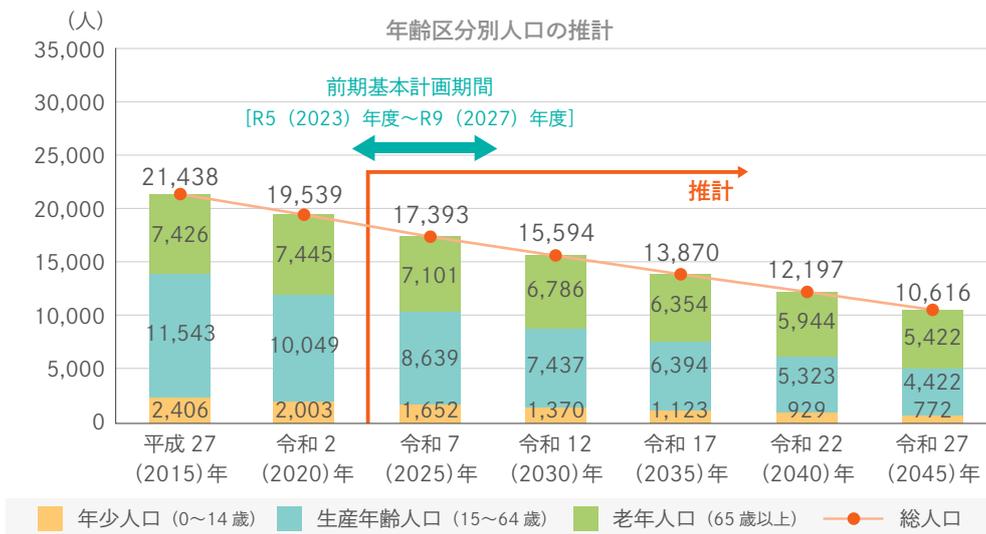
SDGs の視点を踏まえ、市民・団体・事業者・行政などまちづくりを担う全ての関係者が問題意識を共有して取り組んでいくことで、持続可能な社会の実現を目指します。



3 将来推計人口と 前期基本計画期間内の目標人口

● 将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所が平成 30 (2018) 年に算出した本市の推計人口は以下のとおりです。



※平成 27 (2015) 年、令和 2 (2020) 年の総人口は「不詳」を含む

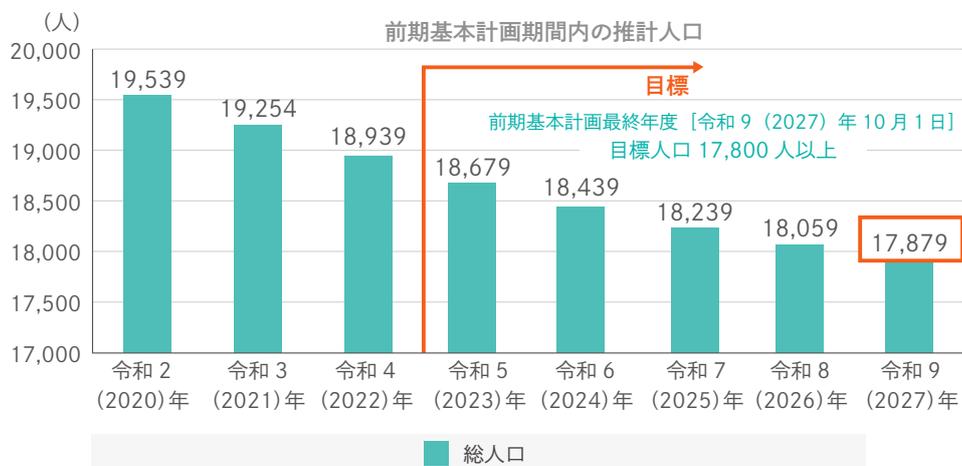
※推計の各年齢区分の人口は小数点も含まれているため、内訳の合計は総人口に一致しない



・令和 27 (2045) 年には 10,616 人まで減少し、平成 27 (2015) 年と比較すると 30 年間で約 5 割まで減少することが予測されています。

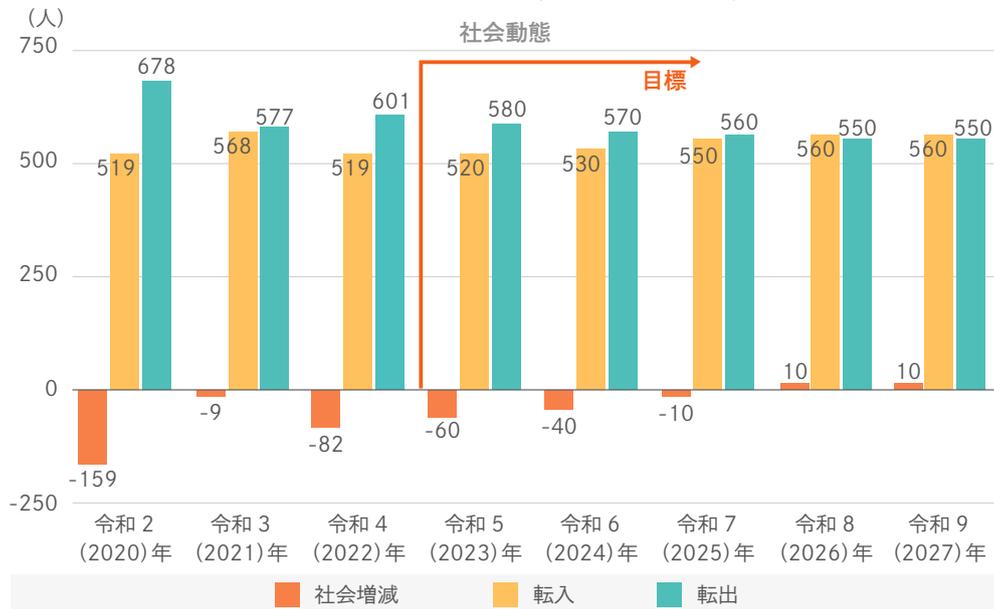
● 前期基本計画期間内の目標人口

移住定住施策の推進、出生率の改善など社会増や自然増に関する取組により、前期基本計画の最終年度 [令和 9 (2027) 年] の目標人口 17,800 人以上を目指します。



● 社会動態の目標人口

移住定住施策など人口対策をはじめとした様々な施策の推進により、令和8（2026）年に、社会増に転じることを目指します。



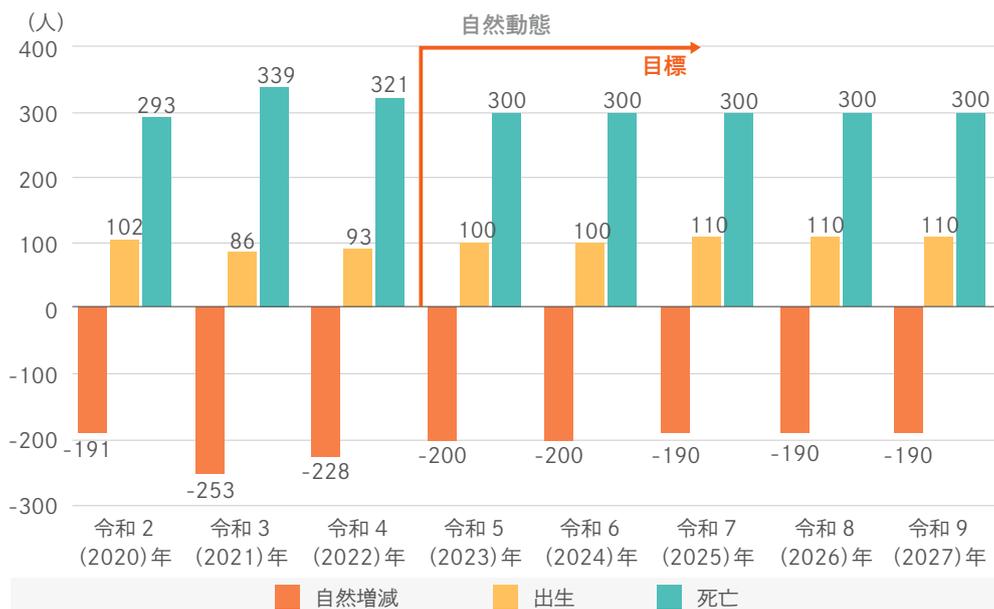
※数値は、人口推計ベースで10月1日現在の集計です



- ・新たな時代のニーズに対応した移住定住対策、産業振興対策および魅力ある地域づくりにより、転出者を減らすとともに転入者を増やします。
- ・飯山市ふるさと回帰支援センターを窓口として、毎年100人以上の移住者を目指します。

● 自然動態の目標人口

妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援等により、出生数の増加を目指します。



※数値は、人口推計ベースで10月1日現在の集計です



- ・出生数の増加により、自然減を200人以下に抑えます。

4 施策体系

● 各行政分野の施策

基本目標における各行政分野と施策

★：飯山市総合戦略に関連する施策

基本目標	行政分野	施策
基本目標 1 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち	新価値創出・起業支援	新産業創出・起業支援 ★1-1、1-4
		産業間連携、付加価値創出 ★1-1、1-4
	自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用	自然との共生、山河や多様な生物の保全
		景観、環境保全
		脱炭素の地域づくり ★1-1
		利雪、楽雪 ★1-1
		循環型の地域づくり
		環境学習、環境保全活動の推進
		地域特性を活かした市土利用
	観光・交流・関係人口	広域観光の推進
		魅力ある観光プログラムの構築 ★1-1
		観光資源の磨き上げ
	住宅・移住定住	多様な交流・関係人口創出 ★1-2
		移住定住の推進 ★1-2
魅力発信	地域住民への広報 ★2-1	
	情報発信の充実	
デジタル化	デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築 ★1-4、2-1	
	デジタルインフラ整備 ★2-1	
基本目標 2 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち	子育て	魅力ある保育サービスの推進 ★1-3
		子育て世代支援 ★1-3
	教育	生き抜く力を育むための教育 ★1-3
		公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育
		新たな時代に対応できる力を磨く教育 ★1-3
		飯山を担うためのふるさと教育
		共生社会が実現するための教育
地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ		
基本目標 3 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち	農林業	地域資源を活かした農林業の付加価値の向上 ★1-1
		担い手の確保や組織の育成、農地利用の集積
		農林業施設、生産基盤等の整備、農村振興
	商工業	商業空間・商業基盤の充実 ★1-1
		工業基盤の充実と活用
		多様な働き方の推進
	伝統産業	伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進 ★1-1
		伝統産業の担い手の確保・育成

基本目標 4 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち	市民協働・ダイバーシティ	誰もが活躍できる場づくり 多様性を認め合う地域づくり 人権意識の啓発活動
	生涯学習	学びと生きがいづくり ★2-2、2-3 魅力ある図書館づくり
	文化	歴史・文化の保存、伝承と活用 芸術文化活動の推進
	スポーツ	スポーツ活動の推進 スポーツ施設の魅力化
基本目標 5 安全で安心して暮らしを愉しめるまち	公共交通	効率的な公共交通システムの構築 ★1-4 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実 ★1-4
	健康	特定健康診査等による疾病予防、介護予防 ★1-4 多様な健康ニーズへの対応
	福祉・介護	地域福祉の推進 ★1-4 高齢者福祉・介護サービス等の推進 ★1-4 障がい者（児）福祉の推進 ★1-4
	医療	地域中核医療機関の維持 地域医療の推進 ★1-4
	防災減災	防災減災対策の推進 ★1-4 自主防災力の向上 ★1-4
	道路	道路ネットワークの充実 道路環境の維持・向上
	公園	魅力ある公園づくり 安全な公園施設の維持
	上下水道	上水道の安定供給 下水道の適正管理
	防犯・交通安全	防犯対策の推進 交通安全の推進
	消防・救急	消防体制の強化 救急体制の強化
	消費者保護	消費者保護の推進
	克雪	生活道路等の除雪 冬の暮らしの安心・安全確保 ★1-4
	集落維持	持続可能な集落づくり ★1-4
	行財政	効果的で質の高い行政運営 ★1-4 健全な財政運営 ★1-4 広域連携の推進

★ 飯山市総合戦略 デジタル技術を最大限活用しながら行政分野横断的に地方創生の取組を推進

戦 略	施 策
戦略 1 デジタル技術の最大限活用による課題解決	1-1 地域産業の活性化と新たな価値創出 1-2 移住定住・関係人口創出 1-3 妊娠・出産・子育て支援と次世代人材育成 1-4 魅力的でいつまでも安心して暮らせる地域づくり
戦略 2 総合戦略を支えるデジタル基盤整備	2-1 デジタルインフラ整備 2-2 デジタル人材の確保・育成 2-3 誰一人取り残さないための取組

5 施策の展開

● 計画の見方

行政分野

1 新価値創出・ 起業支援

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 ~ 2032



行政分野の
10年後の
あるべき姿

10年後の姿

新産業の創出や産業間連携、「飯山」ブランドの向上が図られ、産業が活発になっています。

成果指標

前期基本計画
期間内の
成果指標

指標	現状値	目標 (R9)
起業支援件数	31件 (H30~R4の累計)	30件 (R5~9の累計)
新しい産業の創出に満足している市民の割合	17.1% (R3)	22.1% (R9)
飯山駅周辺の賑わいに満足している市民の割合	18.9% (R3)	23.9% (R9)

SDGs
との関連

SDGs



施策

(1) 新産業創出・起業支援

- 世界にひらく北陸新幹線飯山駅と美しい自然環境を活かし、新産業の創出、起業支援および企業誘致を行います。
- 旧城南中学校や閉校になる小学校等の公有資産について、新産業の創出や起業、地域活性化、移住定住へ向けた利活用を図ります。
- 空家等を資源として捉え、地域の活動拠点など新たな活用を促進するほか、民間の活力を利用した空き家や空き店舗の再活用を推進します。
- 飯山駅前の賑わい創出を図ります。

(2) 産業間連携、付加価値創出

- 地域おこし協力隊制度を活用し、農林水産業、観光業、商工業等の地域産業の魅力化や付加価値の創出につながる活動を支援します。
- 産業間連携によるイノベーションを推進し、先端産業や新たな価値の創出を図ります。
- 民間事業者や大学と連携し、地域課題の解決や新たな価値の創出を図るなど産学官連携によるまちづくりを推進します。

自分にできることを
考えてみよう

施策の名称

施策の概要

インデックス

自分にできること
(記入スペース)

前期基本計画

総合戦略

資料編

●
基本目標

1

ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち



PLANNING MENU

1 新価値創出・起業支援

- (1) 新産業創出・起業支援
- (2) 産業間連携、付加価値創出

2 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

- (1) 自然との共生、山河や多様な生物の保全
 - (2) 景観、環境保全
 - (3) 脱炭素の地域づくり
 - (4) 利雪、楽雪
 - (5) 循環型の地域づくり
- (6) 環境学習、環境保全活動の推進
- (7) 地域特性を活かした市土利用

3 観光・交流・関係人口

- (1) 広域観光の推進
- (2) 魅力ある観光プログラムの構築
- (3) 観光資源の磨き上げ
- (4) 多様な交流・関係人口創出

4 住宅・移住定住

- (1) 移住定住の推進

5 魅力発信

- (1) 地域住民への広報
- (2) 情報発信の充実

6 デジタル化

- (1) デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築
- (2) デジタルインフラ整備

1 新価値創出・ 起業支援



10年後の姿

- 新産業の創出や産業間連携、「飯山」ブランドの向上が図られ、産業が活発になっています。

成果指標

起業支援件数	現状値 31件 (H30～R4の累計)	目標 (R9) 30件 (R5～9の累計)
新しい産業の創出に満足している市民の割合	現状値 (R3) 17.1%	目標 (R9) 22.1%
飯山駅周辺の賑わいに満足している市民の割合	現状値 (R3) 18.9%	目標 (R9) 23.9%

SDGs



施策

(1) 新産業創出・起業支援

- 世界にひらく北陸新幹線飯山駅と美しい自然環境を活かし、新産業の創出、起業支援および企業誘致を行います。
- 旧城南中学校や閉校になる小学校等の公有資産について、新産業の創出や起業、地域活性化、移住定住へ向けた利活用を図ります。
- 空家等を資源として捉え、地域の活動拠点など新たな活用を促進するほか、民間の活力を利用した空き家や空き店舗の再活用を推進します。
- 飯山駅前の賑わい創出を図ります。

(2) 産業間連携、付加価値創出

- 地域おこし協力隊制度を活用し、農林水産業、観光業、商工業等の地域産業の魅力化や付加価値の創出につながる活動を支援します。
- 産業間連携によるイノベーションを推進し、先端産業や新たな価値の創出を図ります。
- 民間事業者や大学と連携し、地域課題の解決や新たな価値の創出を図るなど産学官連携によるまちづくりを推進します。

自分にできることを
考えてみよう

2 自然環境・景観・ 自然エネルギー・ 利雪・楽雪・土地利用



10年後の姿

● 持続可能な循環型のまちになっています。
雪に親しみ、雪が資源として活用されています。

成果指標

自然環境と都市環境の調和がとれた
土地利用に満足している市民の割合

現状値 (R3)

38.3%

目標 (R9)

40.8%

本市の温室効果ガス (二酸化炭素)
排出量

現状値 (H30)

H22年度比で 13% 減

目標 (R9)

H22年度比で 49% 減

SDGs



施策

(1) 自然との共生、山河や多様な生物の保全

- 河川や湖沼の保護・保全、水資源や生態系の保全に取り組むほか、北信5市町をつなぐ千曲川を活用し、各市町の水辺拠点で親水護岸や管理用通路等の整備、水辺アクティビティやスポーツイベントの連携した開催など、自然を活かした魅力づくりや人と川とのふれあいの場づくりを進めます。
- 生物多様性の確保、希少種の保護・保全を推進するとともに、自然環境の調査研究を市民の参加や各種団体の協力を得ながら進めます。
- 生態系への被害を防止するため、外来生物被害予防三原則を守る取組を進めます。また、有害鳥獣による農作物被害を防ぐための取組を市民や事業者と協力し進めます。

(2) 景観、環境保全

- 大気、水、土壌等の生活環境を良好な状態で保持するため、水質監視測定や大気・悪臭・騒音等の監視相談体制の充実など公害発生の防止に努めます。
- まち並み景観、空き家・空き地の適正管理、農地等の適切な維持・保全を行い、飯山らしい里山景観の魅力づくりに努めます。
- 有害化学物質や放射能汚染等の対策のほか、大規模な開発等への対応など安全で快適な環境の確保に努めます。

(3) 脱炭素の地域づくり

- 温室効果ガスの排出削減や2050年カーボンニュートラルの実現に向けたライフスタイルの実践など地球温暖化防止と気候変動への適応について、市民・団体・事業者・行政が共に考え、公共施設のLED照明の導入や断熱化などできるところから実践します。
- 公共施設や家庭、事業所等の省エネルギーの取組を推進するほか、再生可能エネルギーの普及促進に取り組みます。

(4) 利雪、楽雪

- 地域特有の資源である「雪」をエネルギーとして捉え研究を進めます。
- 地域資源である雪を生活文化の一部として楽しむとともに、雪の魅力を引き出し、地域活性化につなげます。

(5) 循環型の地域づくり

- 「長野県版エシカル消費」行動など循環型社会を意識した消費行動を推進するほか、農業用廃プラスチック、農薬、適正処理が困難な物の処理方法の周知などゴミの減量と廃棄物の適正処理に取り組みます。
- 従来の3Rに加え、プラスチック製品等の代替素材への転換も含めた4Rを推進するほか、食品ロス削減など更なるごみ減量とリサイクルの見える化を推進します。
- 市および不法投棄監視連絡員等によるパトロールに加え、常習場所への監視カメラの設置による常時監視体制の充実を図るなど不法投棄対策を強化します。

(6) 環境学習、環境保全活動の推進

- 環境に関する情報を積極的に発信し、環境保全の意識を共有するとともに、環境について学ぶ取組を推進します。
- 環境保全活動の推進に向けた地域や団体、企業の活動を支援します。

(7) 地域特性を活かした市土利用

- 北陸新幹線飯山駅周辺に集積する商業や医療、交通など都市機能の維持と充実を図るとともに、集落とのネットワークの強化により、人口減少・少子高齢化に対応し、市全体の利便性向上と賑わい拡大のための市土利用を図ります。
- 災害や雪に強く、安全・安心で暮らし続けられる市土利用を図ります。
- 里山が有する自然環境や景観について、保全・再生・活用のバランスのとれた市土利用を図ります。
- 農業・林業・商業・工業・環境・観光・健康・教育・居住など様々な行政分野の連携と融合により市土の価値を高め、土地活用を誘発することなどにより、空き地や低未利用地等の解消を図ります。
- 市土の70%以上を占める豊富な森林と農地の多面的機能の活用を図るほか、道路、河川と共に多様な主体による市土利用・管理を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

第3次飯山市環境基本計画

市民・事業者・行政が協働する重点プロジェクト
2050年カーボンニュートラルを目指して

みんなで実現！
カーボンニュートラル

2050年カーボンニュートラルを実現するためには、温室効果ガスの主な排出源である私たちのライフスタイルに密接に関わる分野を中心とした取組が必要であるとともに、再生可能エネルギーの利用が不可欠です。

地球温暖化の現状と将来予測からみた地球温暖化の深刻さと、その原因が私たち人間の活動にあることを踏まえ、市民・事業者・行政が協働し、地域全体で取り組んでいくことを通じ、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。

温室効果ガスの削減目標

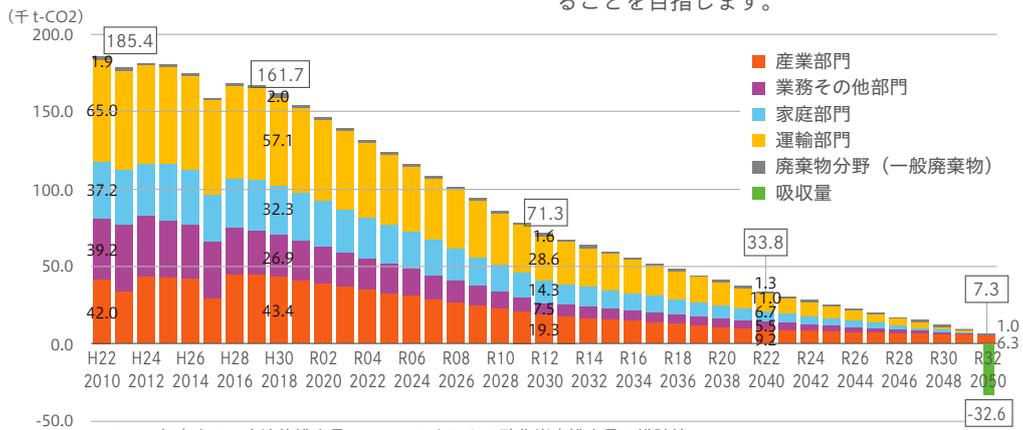
第3次環境基本計画では、目標年度を2030年度とし、2050年カーボンニュートラルに向けて次のとおり目標値を設定します。

指標 市全体の温室効果ガス
(二酸化炭素 排出量)

目標値(2030年度)

2010年度比で62%減

また、長野県ゼロカーボン戦略の削減目標を踏襲し、2050年には森林の吸収量を差し引いて、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指します。



飯山市の脱炭素ロードマップ

豊かな自然と共生し、快適な生活環境とかけがえのない地球環境を守り、そして未来へ受け継いでいくため、この重点プロジェクトを起点とした2050年カーボンニュートラル達成に向けた「飯山市の脱炭素ロードマップ」を次のとおり示します。

2050年カーボンニュートラル実現に向けた「実行計画」策定のための基礎調査

「地球温暖化防止地方公共団体実行計画（区域施策編）」策定

「脱炭素先行地域」の選定を目指す

「脱炭素先行地域・飯山市」として取組を推進

再エネ導入や省エネなどの指定地域の取組を全市に広げ、
カーボンニュートラル達成を目指す

3

観光・交流・ 関係人口



10年後の姿

美しい自然環境や歴史・伝統など地域資源を活用した観光の推進により、地域が活性化しています。

成果指標

観光消費額	現状値 (R3) 30 億円	目標 (R9) 62 億円
観光産業の活性化に満足している市民の割合	現状値 (R3) 23.4%	目標 (R9) 28.4%
関係人口	現状値 (R3) 15,991人	目標 (R9) 22,200人

SDGs



施策

(1) 広域観光の推進

- 信越9市町村や関係機関と連携し、信越自然郷エリアの地域資源を活用したプロモーションを展開するなど広域観光を推進します。
- 千曲川流域の市町村・国・県・各種団体・企業と連携し、千曲川を活かした地域の賑わい創出を図ります。

(2) 魅力ある観光プログラムの構築

- 美しい自然環境・アウトドアスポーツ・文化・芸術・歴史・伝統・風土・風習等を最大限活用し、観光振興を図るとともに、本市の魅力を世界へ発信しインバウンドを呼び込みます。
- 観光地の魅力向上に向け、関連団体の活動への支援等を通じ、多様なホスピタリティ、温かみのある受入れ体制づくりを促進します。
- 市内各観光拠点の活性化を支援し、通年型・滞在型など新たな時代のニーズに対応した魅力ある多様な観光プログラムを構築し提供します。
- 自然環境を活かしたサイクルツーリズムを推進するとともに、「E-BIKE」の聖地を目指します。また、列車内に自転車を持ち込むことができるサイクルトレインの早期実現に向け、飯山線沿線地域活性化協議会等を通じた活動を進めます。
- 観光施設のユニバーサルデザイン化を推進します。

(3) 観光資源の磨き上げ

- 農業と観光の拠点施設である道の駅「花の駅 千曲川」の整備・拡充を進めるとともに民間事業者や各種団体と連携し、更なる魅力向上を図ります。
- 地域の観光資源を磨き、地域のブランド化や地域に利益をもたらす観光コンテンツの充実を図ります。

(4) 多様な交流・関係人口創出

- 姉妹都市、観光交流都市、友好都市および災害時応援協定都市との交流を促進するとともに、地域活性化やイベント開催支援のため、市民、学生、ボランティア等との多様な交流促進を図ります。
- ふるさと納税制度を活用し、本市との継続的なつながりをもった関係人口の創出・増加を図ります。
- 都市部における副業・兼業を希望する人材と本市の課題解決をマッチングする仕組みを構築し、オンラインを含めた関係人口による地域課題の解決を図ります。

4 住宅・移住定住



10年後の姿

充実した移住定住支援の取組により、
転出者が減り、転入者が増えています。

成果指標

移住者数

現状値

809人(H24～R3の累計)

目標(R9)

500人(R5～9の累計)

SDGs



施策

(1) 移住定住の推進

- 多様化する移住希望者のニーズに対応した情報提供や、きめ細やかで丁寧な相談対応により、移住を支援します。
- 移住するための住宅取得等に対して支援します。
- 家庭内での子育てや高齢者介護など世代間での支え合いや集落維持を推進するとともに、若い世代の市内定住を促進するため、親等と同居もしくは近居するための住宅取得等に対して支援します。
- 未婚者への出会いの場の提供や婚活に関する個別のサポート体制の充実を図るなど、成婚へつながるための支援を行うほか、婚姻に伴う新生活を経済的に支援します。
- 市営住宅の計画的な更新および改修を行うなど、移住・定住を推進するための住宅を確保します。
- 民間事業者等と連携し、空き家バンクの取組を推進するなど空家等の活用を促進します。
- サテライトオフィスやテレワークなど新たな時代に対応した多様な働き方を推進し、移住定住人口の増加を図ります。
- 市外通勤者への通勤支援について、時代に即した制度内容の研究を進め、若年層の市外への流出抑制を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

5 魅力発信



10年後の姿

いいやまの魅力が世界に発信され、
「選ばれるまち」になっています。

成果指標

本市の広報活動に満足している
市民の割合

現状値 (R3)

66.4%

目標 (R9)

67.9%

SDGs



施策

(1) 地域住民への広報

- 親しみやすい広報誌およびホームページづくりに取り組むほか、防災無線や各種メディア、SNS など様々な手法を用いて、迅速・確実に分かりやすく市民へ情報を伝達します。
- 地域に密着した情報の提供や様々な行政情報の発信など CATV サービスを充実させ、加入率の増加を図ります。また、放送・情報通信技術の高度化への対応など時代の変化に即した CATV サービスの導入検討を行います。

(2) 情報発信の充実

- 北陸新幹線飯山駅や美しい自然環境などの地域資源をはじめとした本市の様々な魅力を世界へ発信し、交流人口・関係人口の創出および移住や企業誘致につなげます。

自分にできることを
考えてみよう

6 デジタル化



10年後の姿

まちづくりの各分野にデジタル技術が活用されていて、生活利便性やまちの魅力が向上しています。

成果指標

市民・来訪者サービス DX に関する取組

現状値

—

目標 (R9)

6件

SDGs



施策

(1) デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築

- デジタル技術やデータを活用し、市民や来訪者の利便性の向上を図るとともに、市役所業務のスマート化を進め、本市の課題解決や暮らしに役立つ仕組みを構築するなど DX を推進します。

(2) デジタルインフラ整備

- 市内のインターネット利用環境の整備や市民・来訪者サービスのプラットフォーム構築などデジタル化を支える基盤づくりを研究します。
- マイナンバーカードの普及に関する周知や申請手続きの簡素化、申請機会を増やすなど市民の取得率の向上を図るとともに、マイナンバーカードの取得により、日常生活の利便性向上につながる仕組みを検討します。

自分にできることを
考えてみよう

2

ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

未来を拓く子どもたちが 育つ共育のまち



PLANNING MENU

1 子育て

- (1) 魅力ある保育サービスの推進
- (2) 子育て世代支援

2 教育

- (1) 生き抜く力を育むための教育
- (2) 公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育
- (3) 新たな時代に対応できる力を磨く教育
- (4) 飯山を担うためのふるさと教育
- (5) 共生社会が実現するための教育
- (6) 地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ

1 子育て



10年後の姿

安心して子どもを産み育てられる環境が整っていて、「子育てしやすいまち」になっています。

成果指標

子育て環境に満足している
市民の割合

現状値 (R3)

目標 (R9)

33.5%

36.0%

合計特殊出生率
(飯山市独自調査)

現状値

目標 (R9)

1.68 (R元~3の平均)

1.71

SDGs



施策

(1) 魅力ある保育サービスの推進

- 多様化する保育ニーズに対応した保育環境の整備を図るとともに、土曜保育や休日保育などの保育サービスが、保護者にとってより利用しやすい制度になるよう努めます。
- 保育園の適正規模・配置を推進します。

(2) 子育て世代支援

- ワンストップ相談窓口「あいえーる」における妊娠期から子育て期までの相談業務や不妊治療への支援、子育ての相互援助活動など妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援を行い、子育て世代が抱える不安の解消を図ります。
- 子どもと子育て家庭に関する地域の実情把握、相談対応、調査、継続的支援等を行います。
- 子育て支援拠点施設である飯山市子ども館「きらら」や北部子育て支援センター、保健センター等における各種子育て支援を推進します。
- 子育てしやすい地域づくりに向けて、病後児保育の実施や児童センター・児童クラブの運営を推進します。
- 出産特別給付金の支給や給食費完全無償化に向けた段階的な実施など、出産や子育てに関する保護者負担の大幅な軽減を図ります。
- 地域の身近な場所で多様な主体の参画により、子ども同士のふれあいや子育てに関する相談など子どもや保護者の交流の場の提供を促進し、地域の支え合いによる子育て支援を推進します。

自分にできることを
考えてみよう

2 教育



10年後の姿

ふるさとを愛し、自らの夢に挑んで未来を切り拓く子どもたちが育っています。

成果指標

小・中学校の教育環境に満足している市民の割合

現状値 (R3)

目標 (R9)

小学校 40.2%

小学校 42.7%

中学校 40.5%

中学校 43.0%

学力・体力向上
(学力・体カテスト全国平均を100とした場合の結果で算出)

現状値 (R3)

目標 (R9)

小学生 全国学力テスト 99
体カテスト 103

小学生 103 以上

中学生 全国学力テスト 95
体カテスト 102

中学生 105 以上

SDGs



施策

(1) 生き抜く力を育むための教育

- 習熟度別学習・教科担任制度導入や ICT 活用等の学校教育と併せ、学力テスト結果による授業改善を進めるとともに、家庭学習や地域学習の充実により学力向上を図ります。
- 学校・家庭での毎日の体力づくりやクラブスポーツ団体での活動等により体力向上を図ります。
- 毎日の課題学習・家庭学習の習慣化を推進するとともに、課題を探し自己で探究しながら、グループ学習等により課題を解決する力の向上を図ります。

(2) 公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育

- 基礎学力の定着を図るため、放課後児童・生徒の学習支援を推進するほか、将来なりたい自分を見つけ、必要な資質を磨くためのキャリア教育を推進します。

(3) 新たな時代に対応できる力を磨く教育

- 英語 4 技能検定の受験機会の提供や ALT 交流による基礎的英語の習得など国際化に対応する能力を育成します。
- 学校と家庭でのオンライン学習の拡充や、1 人 1 台配布したタブレットの活用、プログラミング教育の充実など ICT に対応する能力を育成します。
- SDG s に基づく環境教育の充実やスポーツ・芸術等の子どもの技能向上を図ります。

(4) 飯山を担うためのふるさと教育

- 本市について学ぶための資料集の作成・活用や、ふるさと館の活用、地域と学校が連携した取組等により、子どもたちの郷土愛を育みます。
- 本市の自然、歴史・文化および地域産業に触れる機会の充実を図ります。
- 千曲川や湖沼でのカヌーやラフティングのほか、信越トレイル体験、斑尾山・小菅山登山を体験する機会をつくります。

(5) 共生社会が実現するための教育

- 「いじめ」や「不登校」を出さないための各種対策を徹底・強化するほか、子どもの権利・安全を保障し、多様な学びの場・機会の充実を図ります。
- お互いの多様性を認め合い、生き生きと過ごせる学校づくりに取り組み、児童・生徒が共に助け合う心を育てる教育を推進します。
- 児童・生徒が安全、快適に学校生活を送ることができるよう、学校施設を適切に維持管理するとともに、長寿命化を図るため、計画的に改修します。
- 障がいのある子もいない子も一緒に学び、過ごせる環境づくりを推進します。
- 人権教育の充実、相手意識をもって行動できる人間性の醸成、平和学習の推進等を通じて、共生社会実現のための豊かな人間性の育成を推進します。

(6) 地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ

- コミュニティスクールの充実など地域・社会が子どもを育て、飯山を誇りに思う学習を推進します。
- 多くの小中学生がスポーツに親しむことができるよう各種大会への支援や選手の育成・強化および指導者の育成・確保を行うなど、ジュニアスポーツの振興を図ります。
- 全地区での共育フェスティバルを開催するなど、子どもから大人まで共に地域を学べる環境づくりを推進します。

自分にできることを
考えてみよう

TOPIC

飯山市第2次教育大綱

「自己教育力を持ち、自分の夢の実現と、持続可能な新たな時代を創る子ども」の育成

飯山市第2次教育大綱の柱

I 「生き抜く力」を育むため、「自己教育力」と多様な考えに触れ課題解決する教育の実践



II 公正で質の高い学力の保障と、将来なりたい自分のために必要な資質を磨く教育の実践



III 国際化・ICT化とともに地球環境に対応し、自らの能力を磨く教育の実践



IV ふるさと飯山を知り、飯山を愛し、飯山を担う「いいやまっ子」に育つ教育の実践



V お互いを知り、助け合う心が育ち、共生社会が実現するための教育の実践



VI 地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツの実践



基本目標

3

ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

世界に誇れる技術を持ち、
産業が活発なまち



PLANNING MENU

1 農林業

- (1) 地域資源を活かした農林業の付加価値の向上
- (2) 担い手の確保や組織の育成、農地利用の集積
- (3) 農林業施設、生産基盤等の整備、農村振興

2 商工業

- (1) 商業空間・商業基盤の充実
- (2) 工業基盤の充実と活用
- (3) 多様な働き方の推進

3 伝統産業

- (1) 伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進
- (2) 伝統産業の担い手の確保・育成

1 農林業



10年後の姿

- 時代に対応した生産活動を支援することで、担い手が確保・育成され、経営基盤が整い、持続可能な農林業が営まれています。

成果指標

農業産出額（飯山市調査）	現状値（R2） 78.5億円	目標（R9） 80億円
新規就農者	現状値（R3） 4人	目標（R9） 40人（R5～9の累計）
農林業の活性化に満足している市民の割合	現状値（R3） 20.3%	目標（R9） 25.3%

SDGs



施策

(1) 地域資源を活かした農林業の付加価値の向上

- 農業者が行う「6次産業化」等を積極的に支援します。
- 「美味しい飯山」を発信し、消費者が望む農産物の生産振興と販売チャネルの開拓を進め、農業所得の向上を図ります。
- 持続可能な食料生産の構築に向けて、振興作物の研究や環境負荷軽減の農業を推進します。
- 農業経営環境の変化に対応するため、スマート農業を推進します。

(2) 担い手の確保や組織の育成、農地利用の集積

- 新規就農者の確保・育成を図るため、国・県・農業団体等の関係機関と連携を図り、就農相談体制の構築と営農技術指導や経営相談を行います。
- 農業者と消費者等との情報共有・連携を図り、効率的かつ安定的な経営を目指します。
- 半農半Xなど多様な担い手や他分野との連携により、地域農業を守ります。
- 農地の利用集積・集約を進め、経営の効率化を図るとともに、地域による計画的な遊休荒廃農地の解消に努めます。

(3) 農林業施設、生産基盤等の整備、農村振興

- 大規模農家育成と家族農業を守るための取組を進め、食料自給率向上を目指します。
- 地域ぐるみで農地や農業用施設、森林環境の整備を行い、農林業の持つ多面的機能の増進を図ります。
- 地域の話し合いにより将来の農地利用の姿を明確化し、農業経営の安定と優良農地の保全を図り、農村機能を維持します。

自分にできることを
考えてみよう

2 商工業



10年後の姿

- 中小企業、小規模事業者の経営が安定し、雇用の増加ならびに後継者・創業者の育成が促進されています。

成果指標



SDGs



施策

(1) 商業空間・商業基盤の充実

- イノベーションや起業支援を推進するとともに、空き店舗の活用や既存店舗の改修を支援するなど商店街の魅力向上、集客力の向上、事業継続・承継を支援します。
- 飯山駅周辺市有地の有効活用を図るため、市内外へ誘致活動を行うとともに、時代の変化に対応した支援を行います。
- 産業振興・中小企業振興に対する地方自治体の主体的な姿勢・責任を明確にするため、「中小企業振興条例」を制定します。
- 関係機関と連携し、経営指導や金融制度の利活用を促進するなど安定した経営を支援します。

(2) 工業基盤の充実と活用

- 地方への企業移転傾向等の機会を活かし、工業団地への企業誘致のほか、テレワーク実施企業、IT系企業の誘致を図ります。
- 既存企業の経営安定を図るとともに、新規進出企業を支援します。

(3) 多様な働き方の推進

- サテライトオフィスやテレワークなど新たな時代に対応した多様な働き方を推進します。
- 高校の新卒者、大卒者へ向けた市内就職先の情報提供等を行います。
- 市内事業所や個人事業主への共済会加入の促進および共済会活動の推進による就業者の定着化を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

3 伝統産業



10年後の姿

- 伝統を守りながらも、イノベーションにより新たな価値を生み出し、発展し続けています。

成果指標

伝統産業技術を活かした商品開発や仕組み

現状値

—

目標 (R9)

5件 (R5~9の累計)

SDGs



施策

(1) 伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進

- 伝統産業の振興を図るとともに、世界に誇る技術を活かしたイノベーションを支援します。
- 伝統産業と先端産業の融合や、伝統産業を軸にした新産業の創出等の取組を推進します。

(2) 伝統産業の担い手の確保・育成

- 伝統産業継承のため、後継者の育成および従事者の維持・確保を図ります。
- 伝統産業の PR・体験の機会等の充実を図り、より身近に感じてもらうことで、興味・関心を喚起し、新たな担い手の確保を目指します。

自分にできることを
考えてみよう

●
基本目標

4

ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

一人ひとりが生きがいをも
って挑戦できるまち



PLANNING MENU

1 市民協働・ダイバーシティ

- (1) 誰もが活躍できる場づくり
- (2) 多様性を認め合う地域づくり
- (3) 人権意識の啓発活動の推進

2 生涯学習

- (1) 学びと生きがいづくり
- (2) 魅力ある図書館づくり

3 文化

- (1) 歴史・文化の保存、伝承と活用
- (2) 芸術文化活動の推進

4 スポーツ

- (1) スポーツ活動の推進
- (2) スポーツ施設の魅力化

1 市民協働・ダイバーシティ



10年後の姿

互いを認め合いながら、市民や各種団体が主体的に地域課題の解決に取り組み、活力のある元気なまちになっています。

成果指標

審議会等委員の女性参画率

現状値 (R3)

目標 (R9)

23.7%

35.0%

人権意識の啓発に満足している市民の割合

現状値 (R3)

目標 (R9)

37.0%

39.5%

SDGs



施策

(1) 誰もが活躍できる場づくり

- 地域の課題解決に向けて取り組む団体等を支援するとともに、市民のまちづくりへの参画を促進します。
- 地域毎の課題解決や多様な働き方の実現を図るため、新たな地域組織の導入や仕組みづくりを検討します。

(2) 多様性を認め合う地域づくり

- 多様性を認め合い、個々の違いや個性を強みとして活躍できる地域づくりを推進します。
- ダイバーシティに関する学習会や講習会の開催などより多くの関係団体と連携し、より多くの市民に理解をいただける環境づくりに取り組みます。
- 男女共同参画推進委員との連携や広報啓発活動を推進し、女性が活躍できる環境づくりに取り組みます。

(3) 人権意識の啓発活動の推進

- 地域や企業内において、人権教育・啓発活動を積極的に取り組めるよう、関係団体と連携しながら人権に関する意識啓発やジェンダー平等のための意識の高揚を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

2 生涯学習



10年後の姿

魅力ある学習機会・環境が整い、
誰もが生きがいをもって暮らしています。

成果指標

スキルアップ、講座等の実施

現状値 (R4)

目標 (R9)

年間 **20** 講座

年間 **23** 講座

図書貸出数

現状値 (R3)

目標 (R9)

年間1人 **4** 冊

年間1人 **5** 冊

SDGs



施策

(1) 学びと生きがいづくり

- 各年代を対象とした各種講座や、地域資源を活かした事業を実施するほか、多様なライフスタイルやニーズに対応した新たな時代を生き抜くためのスキルアップなど大人の学びの場であるリカレント教育を推進します。
- 社会教育団体への指導・相談対応や成果発表の場を提供するなど活動を支援するほか、広報誌、ウェブサイト等を通じて公民館事業の情報を発信します。
- 各地区のニーズに対応した文化的事業や厚生体育事業および各種サークルの支援等を推進し、地域交流および地域活性化を図ります。

(2) 魅力ある図書館づくり

- 利用者のニーズに対応した蔵書数と内容の充実を図り、図書館の利用を促進します。
- 利用者のニーズに対応できる移動図書館の取組を推進します。

自分にできることを
考えてみよう

3 文化



10年後の姿

- 文化芸術活動を行う市民や団体が増えています。
地域文化が次世代に継承されています。

成果指標

伝統文化の継承や芸術文化活動を行う環境に満足している市民の割合

現状値 (R3)

44.6%

目標 (R9)

47.1%

SDGs



施策

(1) 歴史・文化の保存、伝承と活用

- 本市の歴史や文化財に関わる保護団体および所有者への修理や保存、活用等の支援を行い、次世代への継承を図ります。
- 本市の歴史や文化財の調査研究、保存を行うとともに、企画展、講演会、体験学習の実施や情報発信を行い、市民が歴史や文化財等の魅力に触れる機会を増やします。

(2) 芸術文化活動の推進

- 本市にゆかりのある芸術家や本市をテーマにした企画展のほか、多様な作品を鑑賞できるギャラリー展、伝統工芸のワークショップを通じて、市民が芸術文化に触れる機会を設けるなど芸術文化のまちづくりを推進します。
- 芸術文化活動に取り組む市民団体を支援するなど市民が活動しやすい環境づくりに努めます。
- 文化交流館における芸術文化の振興・教育・娯楽・健康など多面的な活用を通じた市民相互の交流の促進と賑わいの創出を図ります。
- ふるさと館を活用した地域文化の学習推進、情報発信および展示会の企画・開催を推進します。

自分にできることを
考えてみよう

4 スポーツ



10年後の姿

- 市民が年齢や体力に応じてスポーツに親しみ、健康増進や体力向上が図られています。

成果指標

各種スポーツ教室やイベントの開催

現状値 (R元)

145回

目標 (R9)

147回

SDGs



施策

(1) スポーツ活動の推進

- 誰もがスポーツに親しめるとともに健康づくりや交流の機会を提供し、地域におけるスポーツの振興を図るほか、時代のニーズに対応したスポーツの研究を進めます。
- 令和 10（2028）年国民スポーツ大会の長野県開催を見据え、大会準備や選手育成に努めるほか、地域・観光振興を図ります。
- 学校統合や部活動の社会体育への移行を見据え、人材の確保・育成など既存のスポーツ組織への継続的な活動を支援します。

(2) スポーツ施設の魅力化

- 市内スポーツ施設の利用状況やニーズを把握し、計画的な改修・維持、備品の更新など整備を行い、利用者の安全を確保し、スポーツの普及や健康増進を図ります。
- 令和 10（2028）年国民スポーツ大会開催に備えた施設整備を行います。
- スポーツ施設の充実により、市内外の利用促進を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

基本目標

5

ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032

安全で安心して 暮らしを愉しめるまち



PLANNING MENU

1 公共交通

- (1) 効率的な公共交通システムの構築
- (2) 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実

2 健康

- (1) 特定健康診査等による疾病予防、介護予防
- (2) 多様な健康ニーズへの対応

3 福祉・介護

- (1) 地域福祉の推進
- (2) 高齢者福祉・介護サービス等の推進
- (3) 障がい者（児）福祉の推進

4 医療

- (1) 地域中核医療機関の維持
- (2) 地域医療の推進

5 防災減災

- (1) 防災減災対策の推進
- (2) 自主防災力の向上

6 道路

- (1) 道路ネットワークの充実
- (2) 道路環境の維持・向上

7 公園

- (1) 魅力ある公園づくり
- (2) 安全な公園施設の維持

8 上下水道

- (1) 上水道の安定供給
- (2) 下水道の適正管理

9 防犯・交通安全

- (1) 防犯対策の推進
- (2) 交通安全の推進

10 消防・救急

- (1) 消防体制の強化
- (2) 救急体制の強化

11 消費者保護

- (1) 消費者保護の推進

12 克雪

- (1) 生活道路等の除雪
- (2) 冬の暮らしの安心・安全確保

13 集落維持

- (1) 持続可能な集落づくり

14 行財政

- (1) 効果的で質の高い行政運営
- (2) 健全な財政運営
- (3) 広域連携の推進

1 公共交通



10年後の姿

暮らしを支え、交流を促進する
地域公共交通ネットワークが形成されています。

成果指標

日常の交通の便利さに満足している
市民の割合

現状値 (R3)

40.0%

目標 (R9)

42.5%

SDGs



施策

(1) 効率的な公共交通システムの構築

- 北陸新幹線・飯山線の利便性向上に向け、沿線自治体や地域住民、関係機関と連携し、鉄道の利用促進および観光振興を図ります。
- 利用者の利便性向上・経費抑制の観点から公共交通のあり方を見直し、地域の特性やニーズに対応した効率的で効果的な公共交通システムを実現するため、必要な実証試験を行い、再構築を図ります。

(2) 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実

- バス路線の拡充・増便や乗り換えが必要な路線の改善、周遊性のある交通網の構築などバス等の運行の充実を図り、市民生活や観光に必要な二次交通網の確立を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

2

健康



10年後の姿

健診受診率の向上により、
心身共に元気な市民が暮らすまちになっています。

成果指標

特定健診受診率	現状値 (R元)	目標 (R9)
	44.2%	70.0%
住民検診など日常の保健活動に満足している市民の割合	現状値 (R3)	目標 (R9)
	59.1%	60.6%

SDGs



施策

(1) 特定健康診査等による疾病予防、介護予防

- 関係機関と連携し、各種健康診査の受診勧奨、啓発等により健診受診率の向上を図り、疾病予防、介護予防に取り組みます。
- 後期高齢者に向けた保健事業と介護予防の一体的な支援を進めます。
- 健診受診者には健診結果に応じた特定保健指導など個別の指導を行います。

(2) 多様な健康ニーズへの対応

- 健康に関する各種データを分析し、効率的で効果的な健康増進施策の立案につなげていきます。
- 多様なライフスタイルに応じた健康づくりや食育を主体的に実践できるよう各種支援や普及啓発等に取り組みます。
- 市民の心の健康づくりや相談体制の充実を図り、自殺予防に取り組みます。

自分にできることを
考えてみよう

3 福祉・介護



10年後の姿

地域ぐるみで支え合い活動が行われ、
誰もが生きがいを持ち安心して暮らしています。

成果指標

要介護・要支援認定者割合（認定率）	現状値（R3） 18.73%	目標（R9） 20%以下
高齢者のための福祉に満足している市民の割合	現状値（R3） 44.8%	目標（R9） 47.3%
障がいのある人のための福祉に満足している市民の割合	現状値（R3） 32.8%	目標（R9） 35.3%

SDGs



施策

(1) 地域福祉の推進

- 民生委員・児童委員、社会福祉協議会等と連携して、地域福祉への意識の高揚や重層的な相談支援体制の充実、地域福祉活動への支援など、市民同士がつながり、互いに支え合う地域共生社会の構築を目指します。
- 多様化・複雑化する福祉ニーズに対応できる共助の仕組みづくりとして、ボランティア団体、NPO の支援・育成や見守りとうど衆の活用など地域に根差した福祉の担い手の確保と団体の創設、団体同士の連携強化に取り組みます。
- 関係機関の協力を得ながら災害時における要配慮者の避難支援体制を整備します。
- 福祉に関する必要な情報を得られるよう、広報誌やホームページなど様々な媒体で情報提供を行います。

(2) 高齢者福祉・介護サービス等の推進

- 高齢者の居住環境や就労の確保、生きがいづくり、介護予防、地域活動の場の提供・支援を行うなど、いつまでもいきいきと暮らせる生活環境づくりに取り組みます。
- 高齢者の心身の状況や生活実態、必要な支援の把握、相談体制の充実を図るとともに、地域での適切な介護・医療・福祉サービス、機関、制度等につなげるための地域包括ケアシステムを構築します。
- 高齢者だけでなく、その家族も含めた生活上の課題解決に向け、相談支援体制を充実させ、地域包括ケアシステムの構築・推進により、地域の関係者とのネットワークを強化するほか、民間事業者や医療機関、大学など研究機関と連携しながら、本市の実情に応じた地域福祉と介護予防の充実を図ります。

(3) 障がい者（児）福祉の推進

- 障がい者（児）が安心して暮らせるよう、地域生活支援拠点の面的整備や入所・入院からの地域移行および地域定着を推進し、就労移行支援体制の整備や就労継続支援から一般就労への移行支援を行うほか、地域生活支援の充実を図ります。
- 障がい児一人ひとりの特性に合った個別・集団療育を行うとともに、福祉サービスの支援を受けられる場の確保と質の向上、医療的ケアの必要な子どもへの支援体制の充実を図ります。
- 障がい者の団体活動の支援や権利擁護および差別解消の推進など、多様な障がい者支援の充実を図ります。

4 医療



10年後の姿

- 必要な医療サービスを受けられる体制が整い、市民が安心して暮らしています。

成果指標

医療体制に満足している市民の割合

現状値 (R3)

35.8%

目標 (R9)

38.3%

SDGs



施策

(1) 地域中核医療機関の維持

- 暮らしの安心と安全につながる地域医療を担う地域中核医療機関の継続と充実を図るため、近隣市町村と連携して支援します。
- 医療人材の確保に向けて、研究資金や奨学金の貸与を行い、医師の確保・育成につなげます。
- 医療面に安心感をもって暮らせるよう、救急・休日・夜間における救急医療体制の確保・充実を図ります。

(2) 地域医療の推進

- 医師会等との連携を強化するとともに、地域内でのかかりつけ医と中核医療機関との役割分担を明確にし、重症化予防や日常的な健康意識の高揚による健康寿命の延伸を図ります。
- 無医地区へ出張診療を実施し、医療サービスを行うとともに、市民の健康増進を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

5 防災減災



10年後の姿

自助・共助・公助による取組により、
安心して暮らせるまちになっています。

成果指標

自然災害からの防災に満足している
市民の割合

現状値 (R3)

35.7%

目標 (R9)

38.2%

SDGs



施策

(1) 防災減災対策の推進

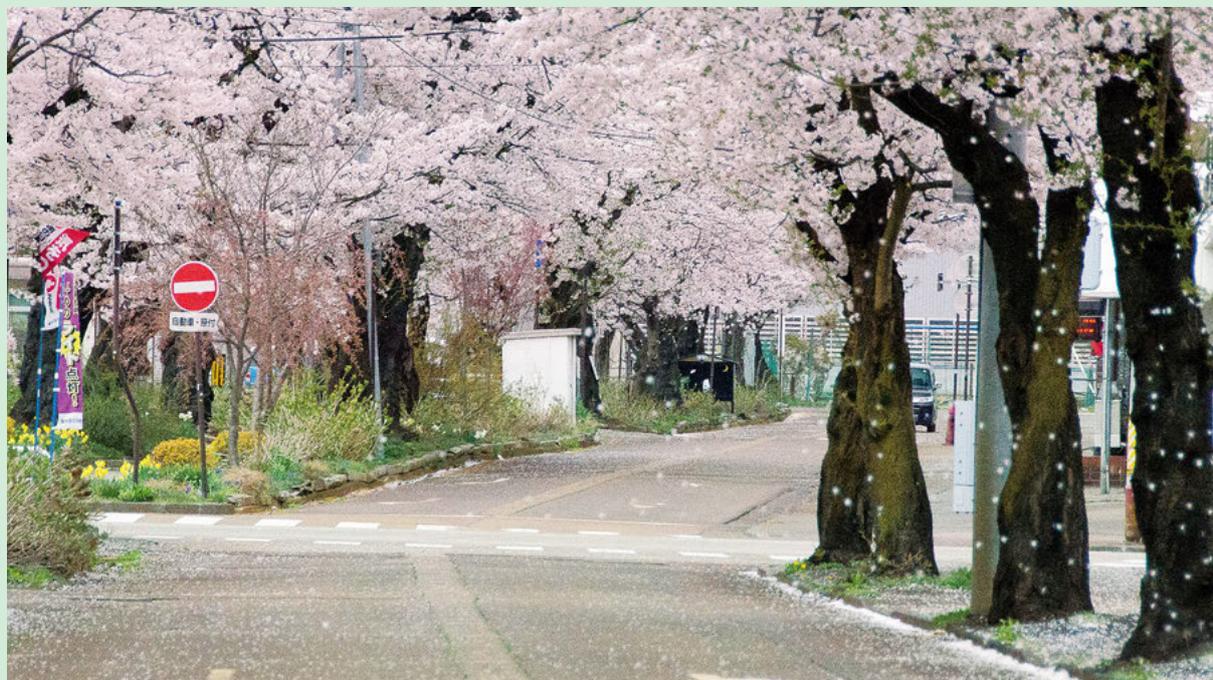
- ハザードマップなど防災に関わる資料を作成し、学習会やイベント等において市民へ周知することで、自助による防災意識の高揚を図ります。
- 大規模災害に備え、国、県、応援協定自治体、警察、消防および自主防災組織など関係機関との連携を強化し、訓練による実効性の検証を行い、風水害・地震・原発事故等の対策に万全の防災体制を確立します。
- これまでの災害データや AI 等の最新技術を活用した迅速かつ的確な災害状況の情報収集や避難情報等の発信など、防災 DX を推進します。
- 令和元年東日本台風災害を教訓に、雨水排水関連施設や河川等の整備、千曲川緊急治水対策プロジェクトと連携した治水事業を推進するほか、山林の安全性を高め、災害に強いまちづくりを進めます。
- 住宅・建築物の耐震化を推進し、地震や風水害等の自然災害に対する備えを進めます。
- 災害危険箇所を日常的に把握するとともに災害による被害とその影響を最小限に抑え、早急に復旧を図るため、総合的な体制を整えます。

(2) 自主防災力の向上

- 自主防災会の設立を促進するほか、防災マップの作成支援や訓練実施に関する啓発を行います。

自分にできることを
考えてみよう

6 道路



10年後の姿

市内外をつなぐ道路ネットワークが構築・維持され、
広域的な交流や地域産業が活性化しています。

成果指標

道路の整備に満足している市民の
割合

現状値 (R3)

48.4%

目標 (R9)

50.9%

SDGs



施策

(1) 道路ネットワークの充実

- 国・県・近隣市町村と連携し、国県道等の幹線道路機能の充実を促進し、災害に強い広域的な道路ネットワークの充実・強化を図ります。
- 快適な暮らしを支える市道の計画的・適切な維持管理と充実を図ります。

(2) 道路環境の維持・向上

- 歩行者や自転車が安全かつ快適に通行できるよう、道路空間づくりを進めます。
- 地域住民との協働により、地域の景観に合う街路樹やフラワーロード等の充実を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

7 公園



10年後の姿

市民のニーズに対応した整備により、
市民の憩いの場となっています。

成果指標

公園や子どもの遊び場に満足している市民の割合

現状値 (R3)

22.7%

目標 (R9)

27.7%

SDGs



施策

(1) 魅力ある公園づくり

- 誰もが快適に過ごせるよう、地域の特性や利用者のニーズに対応した公園施設整備に取り組みます。
- サークル活動や各種イベントの利用など市民団体が活用できる公園づくりに取り組みます。
- 歴史的シンボルである飯山城址公園の整備を進め、市民や来訪者の憩いの場となる環境づくりとともに歴史的価値を高めます。

(2) 安全な公園施設の維持

- 公園施設の長寿命化に向けた整備を推進し、安全安心な公園づくりを進めます。
- 災害時には緊急避難場所として活用できるよう、防災拠点のために必要な整備を進めます。

自分にできることを
考えてみよう

8

上下水道



10年後の姿

安定した上下水道の経営の下、
快適な暮らしと生活環境を維持しています。

成果指標

上下水道の整備に満足している
市民の割合

現状値 (R3)

68.9%

目標 (R9)

70.4%

SDGs



施策

(1) 上水道の安定供給

- 水道施設の適正な維持管理および更新を進め、良質で安全なおいしい水を供給します。
- 飯山市水道事業経営戦略の進捗や財政収支等の適正管理により、健全な事業経営に取り組みます。

(2) 下水道の適正管理

- 下水道施設の計画的な整備、更新、耐震化、耐水化および適正な維持管理を行います。
- 飯山市下水道事業経営戦略の進捗や財政収支等の適正管理により健全な事業経営に取り組みます。
- 下水道事業におけるエネルギー活用による経費節減を図るなど、再生可能エネルギーの導入に向け検討を進めます。

自分にできることを
考えてみよう

9

防犯・交通安全



10年後の姿

交通事故や犯罪の無い安全で安心して暮らせるまちになっています。

成果指標

犯罪件数	現状値 (R3)	目標 (R9)
	37 件	22 件
交通事故件数 (人身事故)	現状値 (R3)	目標 (R9)
	38 件	23 件

SDGs



施策

(1) 防犯対策の推進

- 警察や関係団体と連携しながら、広報誌や防災無線等を通じて、防犯意識を高めるための啓発活動を行います。
- 有害環境の一掃や青少年のインターネット環境の利用に関する有用性や危険性の理解を深め、健全な社会環境づくりを推進します。

(2) 交通安全の推進

- 地元の要望やニーズを把握し、交通安全施設の設置・修繕を行い、歩行者および車両等の事故防止を図ります。
- 飯山市交通安全対策会議や交通安全運動を通じ、交通安全意識の高揚を図ります。
- 高齢者の自動車事故対策として、運転免許証の自主返納を啓発するとともに、公共交通の利用を促進します。

自分にできることを
考えてみよう

10 消防・救急



10年後の姿

消防・救急体制が充実し、誰もが安心して
住み続けられるまちになっています。

成果指標

消防体制に満足している市民の割合

現状値 (R3)

57.2%

目標 (R9)

58.7%

救急体制に満足している市民の割合

現状値 (R3)

37.1%

目標 (R9)

39.6%

SDGs



施策

(1) 消防体制の強化

- 消防団の育成・訓練を行うほか、消防団および岳北消防本部の車両・施設・装備品の計画的な更新により、消防力の向上を図ります。
- 消火栓や防火水槽など地域内の消防防災施設を整備し、安全で安心な地域づくりを進めます。
- 年額報酬や出動手当の見直し、機能別消防団員の導入など消防団員の処遇の改善を進めるほか、消防団協力事業所の認定を推進し、消防団活動に対する環境を整え、団員の確保を図ります。

(2) 救急体制の強化

- 救急体制を確保するとともに救命率の向上につながる市民講習の場を増やすなど、関係機関と連携して救急機能の向上を図ります。

自分にできることを
考えてみよう

11 消費者保護



10年後の姿

- 市民が消費生活に関する正しい知識を身につけ、賢い消費者となり、安心して暮らしています。

成果指標

悪質商法等の消費生活問題への対応に満足している市民の割合

現状値 (R3)

44.9%

目標 (R9)

47.4%

SDGs



施策

(1) 消費者保護の推進

- 消費生活について正しい知識を持ち、消費者トラブルにあわないための必要な能力を身に付けるため、警察等の関係機関と連携し、出前講座をはじめとする消費者教育・啓発を行います。
- 相談業務等を担う専門人材を育成します。

序論

基本構想

前期基本計画

総合戦略

資料編

自分にできることを
考えてみよう

12 克雪



10年後の姿

雪に強く安全に安心して暮らせる
地域社会が実現しています。

成果指標

除雪体制に満足している市民の割合

現状値 (R3)

50.6%

目標 (R9)

53.1%

SDGs



施策

(1) 生活道路等の除雪

- 除排雪および消融雪施設の維持を行い、市民生活の安定と地域経済の振興を図ります。また、ICTの活用による人材不足の解消や除排雪業務の効率化等の研究を行います。
- 除雪オペレーターの育成を推進します。

(2) 冬の暮らしの安心・安全確保

- 豪雪は災害と捉え、実証試験を踏まえ「雪かき支援事業」を創設し、自力で除排雪できない世帯を対象に雪下ろしや排雪を実施します。
- スクラム除雪など市民と協働で行うきめ細かな除排雪を推進します。
- 住宅屋根の融雪化や自然落雪式等の克雪化を推進するほか、ニーズを踏まえた新たな支援制度の研究を進めます。
- 除雪に支援が必要な高齢者等世帯に対して、民生委員・児童委員や区長等と連携した住宅除雪・玄関先除雪等を行います。
- 高齢者等の冬の生活や雪の処理に対する不安を解消するため、共同住宅の実証試験および実証試験を踏まえた整備の検討を行います。
- 除雪等に関する窓口のワンストップ化に向けた検討を進めます。

自分にできることを
考えてみよう

13

集落維持



10年後の姿

新たな時代に対応できる集落機能が整い、
地域の魅力が向上しています。

成果指標

地区の活性化活動に満足している
市民の割合

現状値 (R3)

50.5%

目標 (R9)

53.0%

SDGs



施策

(1) 持続可能な集落づくり

- 新たな時代に対応できる集落づくりや地域の魅力向上を図るため、集落支援員制度の活用等を通じて集落活動のあり方を検討します。
- 集落内の利便性の向上を目的に市民等が協働で実施する道路・用排水施設等の改修や維持管理に対して、資材の提供や技術支援を行います。
- 活性化センター機能の充実を図るほか、地域活動の拠点施設である集会所の改修等を支援します。
- 集落の良好な景観と安全を維持するため、特定空家等の建物所有者等に対し、空家等対策特別措置法に基づき、手続きを進めていきます。

自分にできることを
考えてみよう

14 行財政



10年後の姿

行財政改革を推進し、効率的かつ効果的な行政サービスが提供できています。

成果指標

市役所の利用のしやすさに満足している市民の割合

現状値 (R3)

56.0%

目標 (R9)

57.5%

収納率

現状値 (R3)

98.9%

目標 (R9)

維持

ふるさと納税寄附額

現状値 (R3)

12.3 億円

目標 (R9)

60 億円 (R5 ~9の累計)

SDGs



施策

(1) 効果的で質の高い行政運営

- 各種行政手続きの簡素化・オンライン化など行政サービスの向上を図るとともに、AI・RPAの利用推進やデータ活用、庁内システムの整備など業務の効率化を図ります。
- 社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できるよう、各種研修等の人材育成を行い、職員の課題解決能力の向上と政策立案能力の向上を図ります。
- 行政事務のアウトソーシングや公民連携を推進し、事務事業の効率化や行政サービスの向上を図ります。

(2) 健全な財政運営

- 事業推進の根幹となる市税の申告・納税環境を整備し、正確な課税客体の把握と収納体制の維持を図ります。
- 財政状況の分析により、中長期的な展望に立った計画的な財政運営に努めるとともに、国・県支出金の活用により、財政負担の軽減に努めます。
- ふるさと納税の取組により、市内団体、企業、事業者等の経済振興を図るとともに、事業推進および財政安定化を図ります。
- 公共施設の維持管理を適切に行うとともに、民間企業や各団体と連携し、未利用公有財産の有効活用を図ります。

(3) 広域連携の推進

- 多様化する行政ニーズに対し、限られた資源で行政サービスを維持・向上していくため、近隣自治体との連携を推進します。
- 北信地域定住自立圏共生ビジョンに掲げた事業の推進や、評価検証、新たな事業の研究を行います。
- 姉妹都市交流・観光交流都市・友好都市との各種事業や、災害時応援協定に基づく連携を推進します。

自分にできることを
考えてみよう

飯山市総合戦略



ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032



デジタル技術を最大限活用しながら
行政分野横断的に地方創生の取組を推進

飯山市総合戦略

人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、国は平成 26（2014）年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。同年度には 2060 年に 1 億人程度の人口確保を目指す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

このような国の動向を踏まえ、本市では平成 27（2015）年度に第 1 期飯山市総合戦略を、令和 2（2020）年度には国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂を踏まえ、これまでの取組に関係人口や SDGs など新たな視点を加えた第 2 期飯山市総合戦略を策定しました。この計画では、「地域経済活性化・雇用創出」、「若者定住・移住定住推進」、「子育て支援・次世代育成」、「いつまでも安心して暮らせる地域づくり」の 4 つの戦略を掲げ、人口減少と少子高齢化対策に重点を置いた地方創生の取組を進めました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症のまん延による影響やデジタル技術の急速な進化に伴い、テレワークの普及や地方移住への関心が高まるなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化しています。国は「今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・進化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すことなどを目的に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、令和 5（2023）年度から 5 か年の新たな総合戦略「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

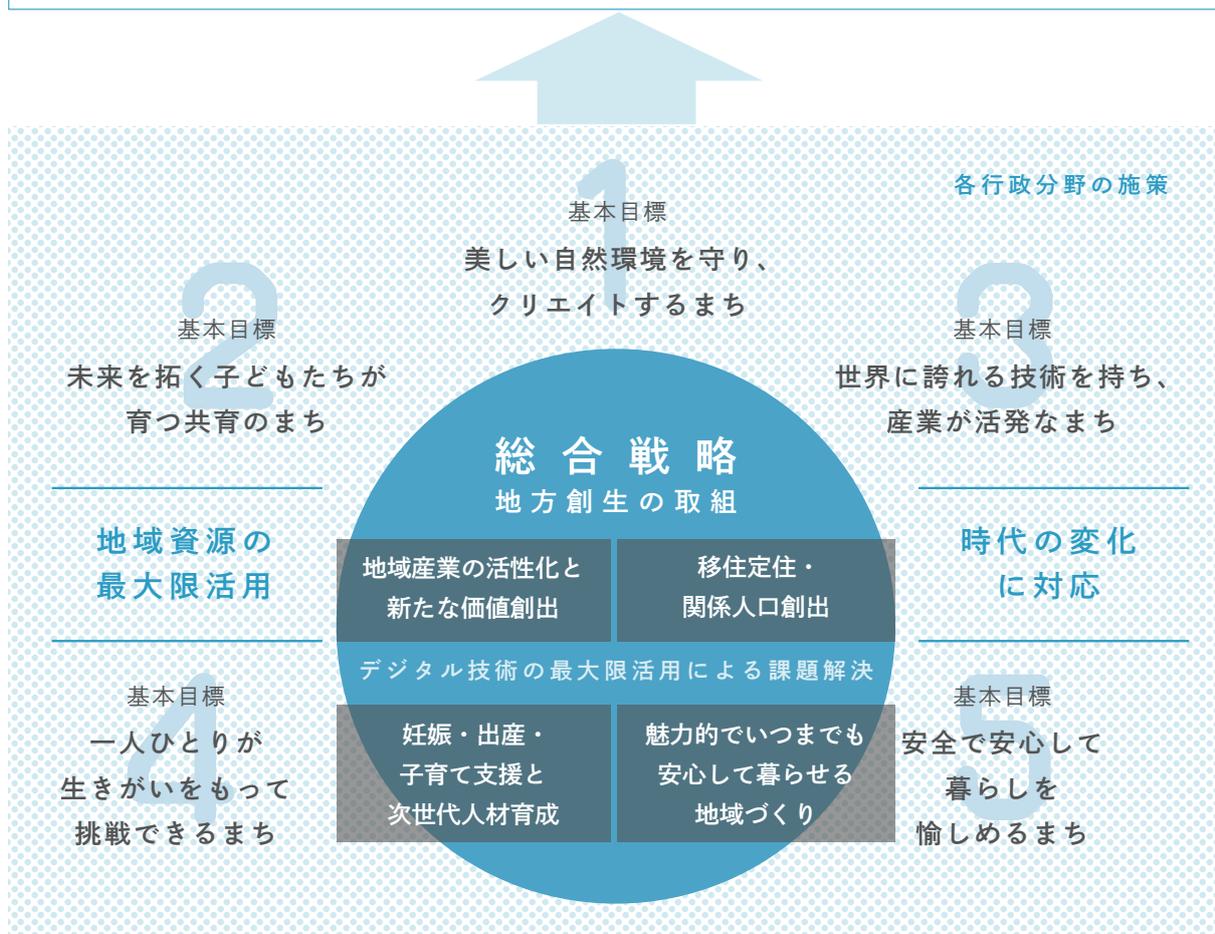
本市は、飯山市第 6 次総合計画に掲げた施策と地方創生の取組を一体的に進めるため、第 2 期飯山市総合戦略を総合計画に統合します。そして、将来のまちの姿「飯山郷創 ～世界にひらく 里山の未来～」の実現に向け、国の戦略を踏まえ、デジタル技術を最大限活用しながら行政分野横断的に推進する「飯山市総合戦略」（以下「総合戦略」という。）として、戦略と取組の方向性を定めます。

数値目標【令和9（2027）年度】

総人口：17,800人以上
合計特殊出生率：1.71

総合戦略と各行政分野の施策のイメージ

飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～



戦略 1

デジタル技術の最大限活用による課題解決

1-1 地域産業の活性化と新たな価値創出

基本的方向

- 地域産業のイノベーションによる生産性向上と新たな付加価値の創出を図ります。
- 地域内の経済循環を高め、地域経済活性化および雇用の創出を図ります。
- 産業間連携や大学・民間事業者等と連携し、先端産業など新たな価値の創出を図ります。
- 地域の特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入によるエネルギーの地産地消と省エネ技術の導入を推進します。

具体的施策と成果指標

※各行政分野の施策から抜粋（以下同じ）

施 策	成 果 指 標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none">● 新価値創出・起業支援● 産業間連携、付加価値創出● 脱炭素の地域づくり● 利雪、楽雪● 魅力ある観光プログラムの構築	<ul style="list-style-type: none">● 起業支援件数● 新しい産業の創出に満足している市民の割合● 飯山駅周辺の賑わいに満足している市民の割合● 自然環境と都市環境の調和がとれた土地利用に満足している市民の割合● 本市の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量● 観光消費額● 観光産業の活性化に満足している市民の割合
<p>基本目標 3 世界に誇れる技術を持ち、 産業が活発なまち</p> <ul style="list-style-type: none">● 地域資源を活かした農林業の付加価値の向上● 商業空間・商業基盤の充実● 伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進	<ul style="list-style-type: none">● 農業産出額● 新規就農者● 農林業の活性化に満足している市民の割合● 雇用の増加● まちなかの商業・経済の活性化に満足している市民の割合● 伝統産業技術を活かした商品開発や仕組み

1-2 移住定住・関係人口創出

基本的方向

- テレワーク、ワーケーション、ブレッジャー、サテライトオフィスなど多様な働き方への支援や「転職なき移住」を推進します。
- まちづくり等に関する課題を共に解決するオンラインを含めた関係人口の創出を図ります。
- 移住希望者に対するデジタルツールを活用した飯山の魅力発信、情報提供、相談、支援の充実を図ります。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な交流・関係人口創出 ● 移住定住の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係人口 ● 移住者数

1-3 妊娠・出産・子育て支援と次世代人材育成

基本的方向

- 妊娠、出産から子育てまで、切れ目のない支援に取り組みます。
- 仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくりを推進します。
- GIGA スクール構想を推進するとともに、ICT を活用した学びの場を創出するなど未来を拓く子どもたちを育成するため、教育 DX を推進します。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
<p>基本目標 2 未来を拓く子どもたちが育つ 共育のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魅力ある保育サービスの推進 ● 子育て世代支援 ● 生き抜く力を育むための教育 ● 新たな時代に対応できる力を磨く教育 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て環境に満足している市民の割合 ● 合計特殊出生率 ● 小・中学校の教育環境に満足している市民の割合 ● 学力・体力向上

1-4 魅力的でいつまでも安心して暮らせる地域づくり

基本的方向

- 高齢者等世帯の除雪、買い物、見守り、避難対応等の支援に取り組みます。
- 地域の実情を踏まえ、集落機能の維持・活性化を図ります。
- 交通事業者や地域と連携し、持続可能で利便性の高い地域公共交通システムの構築を図ります。
- 迅速かつ的確な避難情報の発信や被害情報の収集、避難対応や災害に強いインフラ整備など防災・減災対策を推進します。
- 健康、福祉、医療など多様な分野へデジタル技術の導入を図り、誰もが安心して暮らしを愉しめる地域づくりに取り組みます。
- 各種行政手続きのオンライン化など市民や来訪者サービスの充実と効率化に取り組みます。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新産業創出・起業支援 ● 産業間連携、付加価値創出 ● デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築 <p>基本目標 5 安全で安心して 暮らしを愉しめるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 効率的な公共交通システムの構築 ● 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実 ● 特定健康診査等による疾病予防、介護予防 ● 地域福祉の推進 ● 高齢者福祉・介護サービス等の推進 ● 障がい者（児）福祉の推進 ● 地域医療の推進 ● 防災減災対策の推進 ● 自主防災力の向上 ● 冬の暮らしの安心・安全確保 ● 持続可能な集落づくり ● 効果的で質の高い行政運営 ● 健全な財政運営 	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業支援件数 ● 市民・来訪者サービス DX に関する取組 ● 日常の交通の便利さに満足している市民の割合 ● 特定健診受診率 ● 要介護・要支援認定者割合（認定率） ● 高齢者のための福祉に満足している市民の割合 ● 障がいのある人のための福祉に満足している市民の割合 ● 医療体制に満足している市民の割合 ● 自然災害からの防災に満足している市民の割合 ● 除雪体制に満足している市民の割合 ● 地区の活性化活動に満足している市民の割合 ● 市役所の利用のしやすさに満足している市民の割合 ● 収納率 ● ふるさと納税寄附額

戦略 2 総合戦略を支えるデジタル基盤整備

2-1 デジタルインフラ整備

基本的方向

- マイナンバーカードの普及促進や利活用を図ります。
- 市内公共施設等に誰もがインターネットに接続できる通信インフラの充実を図ります。
- 市内の光ファイバ接続環境の充実を図ります。

具体的施策と成果指標

施策	成果指標
<p>基本目標 1 美しい自然環境を守り、 クリエイトするまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民への広報 ● デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築 ● デジタルインフラ整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の広報活動に満足している市民の割合 ● 市民・来訪者サービス DX に関する取組

2-2 デジタル人材の確保・育成

基本的方向

- 多様なライフスタイルを実現するため、リカレント教育を推進します。
- 市民等のリテラシーレベルの向上を図ります。
- 民間企業・大学および専門学校等と連携し、デジタル技術に関する専門知識を持った外部デジタル人材を確保します。

具体的施策と成果指標

施策	成果指標
<p>基本目標 4 一人ひとりが生きがいをもって 挑戦できるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学びと生きがいづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● スキルアップ、講座等の実施

2-3 誰一人取り残さないための取組

基本的方向

- 高齢者等がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる講座や講習会等を実施します。
- ユニバーサルデザインに配慮し、高齢者等が利用しやすいサービスを構築します。
- 新たなサービスの構築や導入を検討する際には、実証試験を行うなど実現可能性を検証します。

具体的施策と成果指標

施 策	成 果 指 標
基本目標4 一人ひとりが生きがいをもって 挑戦できるまち ● 学びと生きがいづくり	● スキルアップ、講座等の実施



ii

IIYAMA CITY
MASTER PLAN
2023 >> 2032



資料編

第6次総合計画の主な策定経過

[会議]

年月日	区 分	内 容
令和3(2021)年 10月20日	総合計画策定方針策定	計画策定における基本的な考え方、策定体制、スケジュールなど
11月29日	庁内策定委員会・ 庁内アイデア会議合同会議①	策定方針、スケジュールなど
12月15日	庁内アイデア会議① ※若手の職員で構成	将来像・基本目標ワークショップ
12月21日	庁内策定委員会① ※係長クラスの職員で構成	施策体系、現行計画評価検証
令和4(2022)年 1月21日	庁内策定委員会・ 庁内アイデア会議合同会議②	将来像・基本目標、計画の構造、各種調査結果等
2月9日	庁内アイデア会議②	将来像・基本目標ワークショップ
3月4日	庁内策定委員会②	計画の構造
3月25日	庁内策定委員会③	将来像・基本目標(たたき台)
4月25日	市民アイデア会議①	委嘱、基礎調査結果、素案づくり
5月25日	市民アイデア会議② 庁内アイデア会議③	将来像・基本目標ワークショップ
6月17日	市民アイデア会議③	将来像・基本目標(素案づくり)
6月22日	庁内策定委員会④	計画の施策体系・構成
7月26日	市民アイデア会議④	将来像・基本目標(素案づくり)
8月2日	庁内策定委員会・ 庁内アイデア会議合同会議③	将来像・基本目標(素案づくり)取りまとめ
8月23日	基本構想(素案)策定	
9月1日	基本構想審議会 (基本構想(素案)諮問)①	これまでの経緯、基礎調査結果、基本構想(素案)
10月4日	基本構想審議会②	委員意見への対応
10月19日	庁内策定委員会⑤	前期基本計画施策体系、施策づくり
11月10日	市民アイデア会議⑤ 庁内アイデア会議④	将来像のイメージ化、施策のアイデア出し
12月7日	基本構想審議会③	パブリックコメントの結果および対応案、 基本構想(素案)の答申内容
12月14日	市民アイデア会議⑥	将来像のイメージ化
12月28日	基本構想(素案)答申	基本構想審議会長から市長へ答申

年月日	区 分	内 容
令和5(2023)年 1月16日	市民アイデア会議⑦	将来像のイメージ化
1月18日	前期基本計画(素案)策定	
1月20日	基本構想審議会[前期基本計画(素案)諮問]④	前期基本計画(素案)
2月10日	基本構想(案)策定	前期基本計画(素案)
2月22日	基本構想(案)議案提出	
3月14日	基本構想審議会⑤	パブリックコメントの結果および対応案、前期基本計画(素案)の答申内容
3月14日	前期基本計画(素案)答申	基本構想審議会議長から市長へ答申
3月20日	基本構想の議決	
3月20日	前期基本計画(案)策定	
3月30日	前期基本計画策定	

[パブリックコメント]

年月日	区 分	内 容
令和4(2022)年 10月31日～ 11月30日	基本構想(素案)に関する パブリックコメントの募集	意見の提出 27件(5名)
令和5(2023)年 2月1日～ 3月2日	前期基本計画(素案)に関する パブリックコメントの募集	意見の提出 3件(3名)

[アンケートなど]

年月日	区 分	内 容
令和3(2021)年 10月25日	市民アンケート調査実施	18歳以上の市民、無作為3,000人抽出 (回答:1,338件、回収率:44.6%)
12月15日	小中学校へ「飯山市ミライ提案シート」の取組について協力依頼	市内小中学校の児童・生徒から210のミライ(将来像)に関する提案あり
12月23日～	各種団体アンケート調査実施	飯山商工会議所(ヒアリング)、ながの農業協同組合(ヒアリング)、信州いいやま観光局、飯山市社会福祉協議会、飯山市スポーツ協会、子ども育成連絡協議会

飯山市基本構想審議会名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	団体名・役職
会 長	坪根 弘記	飯山商工会議所 会頭
副会長	松永 晋一	飯山市農業委員会 会長
委 員	松澤 孝	飯山市区長会協議会 会長
委 員	村山 芳広	飯山市スポーツ協会 会長
委 員	小林 芳裕	飯山市公民館 館長
委 員	手塚 元彦	飯山市老人クラブ連合会 会長
委 員	坪井 久	飯山市芸術文化協会 会長
委 員	高澤 勇一	飯山市子ども会育成連絡協議会 会長
委 員	丸山 聡浩	みゆき野青年会議所 理事長
委 員	西川 遼馬	飯山市若者会議 会長
委 員	荻原 育夫	ながの農業協同組合 みゆき地区担当理事
委 員	大口 秀市	信州いいやま観光局 事務局長
委 員	吉越 邦榮	飯山市教育委員会 教育長職務代理者
委 員	内山 貴司	飯山市金融団 株式会社 八十二銀行飯山支店 支店長
委 員	今清水豊治	飯山市社会福祉協議会 会長
委 員	岩澤 幹直	飯山赤十字病院 院長
委 員	久保田桂子	飯山市民生児童委員協議会 会長
委 員	出澤 重樹	飯山市消防団 団長
委 員	丸山 明美	飯山市男女共同参画推進委員会 会長
委 員	直江 崇	北信地域振興局 局長
委 員	高野理恵子	公 募 委 員
委 員	滝澤万利子	公 募 委 員
委 員	近藤 里樹	飯山高等学校 2年
委 員	山崎 天翔	下高井農林高等学校 生徒会長
委 員	本間 喜子	市民アイデア会議 会長
委 員	上村 充	市民アイデア会議 副会長
会 長 (～令和4年 10月31日)	伊東 博幸	飯山商工会議所 会頭 (～令和4年10月31日)
委 員 (～令和4年 12月31日)	稲生 孝	飯山市区長会協議会 会長 (～令和4年12月31日)
委 員 (～令和4年 12月31日)	鷲森 秀樹	みゆき野青年会議所 理事長 (～令和4年12月31日)
委 員 (～令和4年 11月30日)	山室 茂孝	飯山市民生児童委員協議会 会長 (～令和4年11月30日)

飯山市市民アイデア会議名簿

(敬称略)

役職	氏名	団体名・役職
会長	本間 喜子	信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 助教
副会長	上村 充	飯山商工会議所
委員	足立 崇	飯山商工会議所
委員	水野 尚哉	ながの農業協同組合
委員	北村 明史	信州いいやま観光局
委員	西川 遼馬	飯山市社会福祉協議会
委員	栗原英里子	公募委員
委員	モーガン麻衣子	公募委員
委員	佐川 芳江	地域おこし協力隊
委員	岡村麻衣子	いいやま mama マルシェ
委員	松山 周世	サイクルツーリズム識見者

市民アイデア会議 あとがき

市民アイデア会議では様々な職業・背景を持つ人が集まり、それぞれの視点からの提案や問題提起ができ、幅広く飯山市のこれからについて議論を重ね、色々な案や思いが生まれました。その際、自分自身の思いだけでなく、周囲の人たちの困り事や課題を聞いて、何が今問題なのか・解決すべきことは何か・こういった解決策や方法はどうか、など活発に、地域全体での視点で熱い議論が行われました。委員の皆さんそれぞれ核となる思いを持ち、大きな熱量で毎回の会議に取り組んでくれました。通常、こういった会議では、難しい顔をして集まることが多いですが、活発に意見が飛び交い、飯山市の未来に対してとても強い思いが感じられるアイデア会議となりました。

現在、全国で少子高齢化による問題や環境、エネルギーなどの問題が山積しています。総合計画は、10年先までを見据えた計画ではありますが、飯山市を50年、100年、1000年と未来に繋げていくための、未来を見据えるための重要な計画です。このアイデア会議を発端とし、飯山の未来を考える活動を、多様な世代、多様な背景を持つ人たちで、思いを未来へと繋げ続けていただきたいと思います。

市民アイデア会議 会長 本間 喜子



成果指標一覧

基本目標 1 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野	成果指標	現状値 (直近の値)	目標値 R9 (2027) 年度	数値出典	備考
新価値創出・ 起業支援	起業支援件数	31件 (H30～R4の累計)	30件 (R5～9の累計)	商工観光課	年間6件以上の起業支援件数を指す。
	新しい産業の創出に満足している市民の割合	17.1% (R3)	22.1%	市民アンケート	毎年1.0%ずつ上昇する状態を目指す。
	飯山駅周辺の賑わいに満足している市民の割合	18.9% (R3)	23.9%	市民アンケート	毎年1.0%ずつ上昇する状態を目指す。
自然環境・ 景観・自然エ ネルギー・ 利雪・楽雪・ 土地利用	自然環境と都市環境の調和がとれた土地利用に満足している市民の割合	38.3% (R3)	40.8%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
	本市の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量	H22年度比で 13%減 (H30)	H22年度比で 49%減	環境省推計値	第3次飯山市環境基本計画の成果目標値に基づく数値。
観光・交流・ 関係人口	観光消費額 (暦年集計)	30億円 (R3)	62億円	長野県観光地 利用者統計 調査結果	新型コロナウイルス感染拡大以前の3カ年の平均値への回復を目指す。
	観光産業の活性化に満足している市民の割合	23.4% (R3)	28.4%	市民アンケート	毎年1.0%ずつ上昇する状態を目指す。
	関係人口	15,991人 (R3)	22,200人	企画財政課	定住人口と関係人口の合計40,000人以上を目指す。 ※第2期総合戦略(本計画へ統合)の目標値
住宅・ 移住定住	移住者数	809人 (H24～R3の累計)	500人 (R5～9の累計)	移住定住推進課	年間100人以上の移住者数を指す。 ※第2期総合戦略(本計画へ統合)の目標値
魅力発信	本市の広報活動に満足している市民の割合	66.4% (R3)	67.9%	市民アンケート	毎年0.3%ずつ上昇する状態を目指す。
デジタル化	市民・来訪者サービスDXに関する取組	—	6件	事業戦略室	飯山市DX推進計画に掲げたDXプロジェクトなど住民や来訪者向けの新たなサービス構築を目指す。

基本目標 2 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野	成果指標	現状値 (直近の値)	目標値 R9 (2027) 年度	数値出典	備考
子育て	子育て環境に満足している市民の割合	33.5% (R3)	36.0%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
	合計特殊出生率 (飯山市独自調査)	1.68 (R元～3の平均)	1.71	企画財政課	飯山市人口ビジョンのシミュレーションに基づく数値
教育	小・中学校の教育環境に満足している市民の割合	小学校: 40.2% 中学校: 40.5% (R3)	小学校: 42.7% 中学校: 43.0%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
	学力・体力向上 (学力・体力テスト全国平均を100とした場合の結果で算出)	小学生(R3) 全国学力テスト99 体力テスト103	小学生103以上	子ども育成課	※第2次教育大綱の目標値
	学力・体力向上 (学力・体力テスト全国平均を100とした場合の結果で算出)	中学生(R3) 全国学力テスト95 体力テスト102	中学生105以上	子ども育成課	※第2次教育大綱の目標値

基本目標 3 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野	成果指標	現状値 (直近の値)	目標値 R9 (2027) 年度	数値出典	備考
農林業	農業産出額 (飯山市調査)	78.5 億円 (R2)	80 億円	農林課	※飯山市農業振興計画の目標値
	新規就農者	4 人 (R3)	40 人 (R5 ~ 9 の累計)	農林課	※飯山市農業振興計画の目標値
	農林業の活性化に満足している市民の割合	20.3% (R3)	25.3%	市民アンケート	毎年 1% ずつ上昇する状態を目指す。
商工業	雇用の増加	1,555 人 (R2)	1,630 人	商工観光課	年間 15 人(期間累計 75 人)以上の雇用増を目指す。
	まちなかの商業・経済の活性化に満足している市民の割合	17.1% (R3)	22.1%	市民アンケート	毎年 1% ずつ上昇する状態を目指す。
伝統産業	伝統産業技術を活かした商品開発や仕組み	—	5 件 (R5 ~ 9 の累計)	商工観光課	伝統産業技術を活かしたイノベーションにより、商品開発や仕組みの創出を目指す。

基本目標 4 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野	成果指標	現状値 (直近の値)	目標値 R9 (2027) 年度	数値出典	備考
市民協働・ダイバーシティ	審議会等委員の女性参画率	23.7% (R3)	35.0%	人権政策課	※第 4 次男女共同参画計画の目標値
	人権意識の啓発に満足している市民の割合	37.0% (R3)	39.5%	市民アンケート	毎年 0.5% ずつ上昇する状態を目指す。
生涯学習	スキルアップ、講座等の実施	年間 20 講座 (R4)	年間 23 講座	市民学習支援課	時代のニーズに合わせたスキルアップ講座やリカレント教育を実施する。
	図書貸出数	年間 1 人 4 冊 (R3)	年間 1 人 5 冊	市民学習支援課	※第 2 次教育大綱の目標値
文化	伝統文化の継承や芸術文化活動を行う環境に満足している市民の割合	44.6% (R3)	47.1%	市民アンケート	毎年 0.5% ずつ上昇する状態を目指す。
スポーツ	各種スポーツ教室やイベントの開催	145 回 (R 元)	147 回	スポーツ推進室	スポーツ協会、スポーツ少年団、市が実施するイベント等の維持・増加を目指す。

基本目標 5 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野	成果指標	現状値 (直近の値)	目標値 R9 (2027) 年度	数値出典	備考
公共交通	日常の交通の便利さに満足している市民の割合	40.0% (R3)	42.5%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
健康	特定健診受診率	44.2% (R元)	70.0%	保健福祉課調査	※飯山市データヘルス計画(保健事業実施計画)第3期特定健診・特定保健指導実施計画の目標値
	住民検診など日常の保健活動に満足している市民の割合	59.1% (R3)	60.6%	市民アンケート	毎年0.3%ずつ上昇する状態を目指す。
福祉・介護	要介護・要支援認定者割合(認定率)	18.73% (R3)	20%以下	保健福祉課調査	※飯山市地域福祉計画の目標値
	高齢者のための福祉に満足している市民の割合	44.8% (R3)	47.3%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
	障がいのある人のための福祉に満足している市民の割合	32.8% (R3)	35.3%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
医療	医療体制に満足している市民の割合	35.8% (R3)	38.3%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
防災減災	自然災害からの防災に満足している市民の割合	35.7% (R3)	38.2%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
道路	道路の整備に満足している市民の割合	48.4% (R3)	50.9%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
公園	公園や子どもの遊び場に満足している市民の割合	22.7% (R3)	27.7%	市民アンケート	毎年1.0%ずつ上昇する状態を目指す。
上下水道	上下水道の整備に満足している市民の割合	68.9% (R3)	70.4%	市民アンケート	毎年0.3%ずつ上昇する状態を目指す。
防犯・交通安全	犯罪件数	37件 (R3)	22件	長野県警察	4割程度の減少を目指す
	交通事故件数(人身事故)	38件 (R3)	23件	道路河川課データ	4割程度の減少を目指す
消防・救急	消防体制に満足している市民の割合	57.2% (R3)	58.7%	市民アンケート	毎年0.3%ずつ上昇する状態を目指す。
	救急体制に満足している市民の割合	37.1% (R3)	39.6%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
消費者保護	悪質商法などの消費生活問題への対応に満足している市民の割合	44.9% (R3)	47.4%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
克雪	除雪体制に満足している市民の割合	50.6% (R3)	53.1%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
集落維持	地区の活性化活動に満足している市民の割合	50.5% (R3)	53.0%	市民アンケート	毎年0.5%ずつ上昇する状態を目指す。
行財政	市役所の利用のしやすさに満足している市民の割合	56.0% (R3)	57.5%	市民アンケート	毎年0.3%ずつ上昇する状態を目指す。
	収納率	98.9% (R3)	維持	税務課データ	既に県下でも高い収納率となっており、この水準を維持する。
	ふるさと納税寄附額	12.3億円 (R3)	60億円 (R5～9の累計)	企画財政課データ	年間12億円の寄附額を目指す。

※市民満足度(〇〇)に満足している市民の割合)の目標数値は、現状値により以下のとおり設定しています。

現状値(%)⇒毎年の増加(%)【5年間の増加(%)】

0～9⇒1.5【7.5】、10～25⇒1.0【5.0】、26～50⇒0.5【2.5】、51～70⇒0.3【1.5】、71～⇒【維持】

用語集

【五十音順】

空き家バンク

売買や賃貸を希望する空き家・空き地の物件をお持ちの方から、物件情報を提供・登録していただき、ウェブサイト等を通じて公開し、本市への移住を希望されている方などへ物件情報や地域の情報を提供し、物件所有者と購入等を希望される方との橋渡しを行う仕組みのこと。

アクティビティ

活動、体を使った遊び。観光分野では、日帰り旅行・外遊び・アウトドアスポーツ等を通して、楽しんだり、ネット上で学んだりする活動のこと。

イノベーション

社会・顧客の課題解決につながる革新的な手法（技術・アイデア）や既存手法の新たな組合せで新たな価値（製品・サービス等）を創造すること。

インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のこと。

外来生物被害予防三原則

外国起源の生物（外来種）が、日本の在来種の生息場所を奪ったり在来種を捕食したりする被害を防ぐための原則として、悪影響を及ぼすおそれのある外来種を「入れない」「捨てない（逃がさない、放さない）」「拡げない（増やさない）」こと。

関係人口

移住してきた「定住人口」でも、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

共育のまち

この計画では、子どもが成長に必要なことを学ぶだけでなく、子どもと接している親も一緒に学び、成長すること、さらに、多様な立場の人や組織が連携して教育を担うこと、地域が教育を担うこと。

クリエイティブ

創造的な、創作的な、独創的な、工夫して作る、編み出される、などのこと。

クリエイトするまち

地域資源を活用し、飯山ならではの創造的、創作的、独創的なまちづくりを進めること。

交流人口

通勤・通学、文化、スポーツ、買物、観光等によって、その地域を訪れる人々のこと。

コミュニティ

居住地域を同じくし、利害をともにする共同体。生産・自治・風俗・習慣等で深い結びつきをもつ共同体のこと。

コミュニティスクール

学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える仕組みのこと。

コンテンツ

元々の意味は内容、中身のことで、観光分野では幅広い定義として、宿泊施設、観光地、アクティビティ、グルメ等のこと。

サイクルツーリズム

自転車で楽しむ体験型・交流型旅行の促進、市民参加型サイクリングイベントの開催を通じた観光地域づくりなど自転車を活用した観光振興のこと。

再生可能エネルギー

太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱など自然界に存在し、永続的な利用が可能と考えられるエネルギーのこと。

サテライトオフィス

企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。

里山

一般には、人里近くにある、生活に結びついた山や森林のことをいうが、この計画では、世界から見て、恵まれている自然環境があり、自然と人が共生している飯山市全体のこと。

循環型社会

資源及びエネルギーの合理的かつ循環的な利用及び廃棄物の発生の抑制を推進し、環境への負荷の少ない社会のこと。

食育

生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てること。

新価値創出

今までの常識を覆すような革新的なアイデア・価値観で、今までに例のない新しいビジネス等を創出すること。

スマート化

ロボット技術や情報通信技術 (ICT=Information and Communication Technology) を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現すること。

生物多様性

生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。

先端産業

先端技術を活用・駆使する産業分野のこと。

集落支援員

地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した方を地方自治体が委嘱して、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を行う人材のこと。

ダイバーシティ

集団において年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好等、様々な属性の人が集まった状態のこと。

脱炭素社会

地球温暖化対策のため、二酸化炭素の排出を低減していく社会のこと。

地域おこし協力隊

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組のこと。

適応策

地球温暖化による気候変動の影響によって起こりつつある災害等への対策や備えのこと。

デジタル技術

現実世界の「ものごと」や「できごと」をコンピュータで扱える形 (デジタル) で表現し直し (デジタル化)、活用する技術のこと。

デバイス

パソコン・タブレット・スマートフォンや、それらと接続して使う装置の総称のこと。

テレワーク

Tele (離れて) と Work (仕事) を組み合わせた造語。ICT を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと。

「長野県版エシカル消費」行動

「エシカル (ethical)」とは、「倫理的・道徳的」という意味で、「エシカル消費」は、人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費すること。長野県では、環境、人・社会、地域に加え、健康長寿県として「健康」にも配慮した「長野県版エシカル消費」を推進している。

ハザードマップ

地域住民等が迅速・安全に避難するために、災害危険箇所や避難場所等の情報を明示した地図のこと。

半農半X

別の仕事をしながら農業をすること。

ブレジャー

Business (ビジネス) と Leisure (レジャー) を組み合わせた造語。出張等の機会を活用し、余暇を楽しむこと。

プロモーション

この計画では、地方自治体によって行われる、地域のイメージを向上させるために行われる活動の総称のこと。

ホスピタリティ

おもてなしの意識のこと。

マイナンバーカード

マイナンバー (社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関が保有する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用される) を証明する書類や本人確認の際の公的な本人確認書類として利用でき、また、様々な行政サービスを受けることができるようになる IC カードのこと。

ユニバーサルデザイン

従来のバリアフリー施策に加え、障がいの有無、年齢、性別、言語等にかかわらず、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」という考え方のこと。

ライフスタイルの変化・多様化

事業所へ出社するスタイルだけでなくテレワークするスタイル、一か所での居住だけでなく多地域居住や特定の居住地を持たないスタイルなど個人の生活様式（ライフスタイル・営み方）が、時代の潮流により変化・多様化すること。

リカレント教育

学校教育から一旦離れた後も、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていく大人の学びのこと。

ワーケーション

Work（仕事）と Vacation（休暇）を組み合わせた造語で、余暇主体と仕事主体の2つのパターンがあり、いずれもテレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすこと。

【英数字】

AI

Artificial Intelligence の略。人工知能のこと。

ALT

Assistant Language Teacher の略。外国語指導助手のこと。

DX（ディーエックス）

Digital Transformation（デジタル・トランスフォーメーション）の略。進化したデジタル技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

GIGA スクール構想

小学校、中学校における ICT 環境を整備する中で、児童生徒用のパソコン端末 1 人 1 台、そのパソコンをインターネット環境につながるようにするための校内 LAN や無線 LAN 等の高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想のこと。

ICT（アイシーティー）

Information and Communication Technology の略。情報通信技術のこと。

MaaS（マース）

Mobility as a Service の略。スマホアプリにより、地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括して行うサービスのこと。

RPA

Robotics Process Automation の略で、パソコン画面操作の自動化や蓄積されたデータの整理や分析などロボットによる業務自動化のこと。

SDGs（エスディー・ジーズ）

Sustainable Development Goals の略。平成 27（2015）年 9 月の国連サミットで採択された、17 のゴール、169 のターゲットで構成されている「国際社会における令和 12（2030）年までの開発目標」のこと。

STEM 教育（ステムきょういく）

Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Mathematics（数学）の 4 つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念のこと。

2050 年カーボンニュートラル

2050 年までに、温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス）の排出を全体としてゼロにする（排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにする）こと。

6 次産業

農林漁業者（1 次産業）が、生産物の元々持っている価値をさらに高め、それにより、農林漁業者の所得（収入）を向上していくため、食品加工（2 次産業）、流通・販売（3 次産業）にも取り組み、それによって農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていこうとすること。

IIYAMA CITY MASTER PLAN
飯山市第6次総合計画

発行：令和5（2023）年3月
編集：飯山市 総務部 事業戦略室
〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
TEL：0269-62-3111（代表）
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>

Creative!
飯山郷創
～世界にひらく 里山の未来～